



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
排水路設備（大溝線他）改修工事

積 算 書

（当初）

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

[illegible]

九州農政局

九州農政局

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			34,240,000	
・工事原価			27,983,000	
・・製作工事原価			5,792,000	
純製作費			5,483,000	
・・・直接製作費	1.000	式	5,422,000	
・・・間接製作費			370,000	
・・・・間接労務費			61,000	
・・・・工場管理費			309,000	
・・据付工事原価			21,392,000	
純工事費			12,338,000	
・・・直接工事費	1.000	式	10,212,000	
・・・間接工事費			11,180,000	
・・・・共通仮設費			2,126,000	
・・・・・運搬費～営繕費等				
$10,212,000 \times ((16.140 \times 1.000) \times 1.040)$			1,715,000	
・・・・・安全費	1.000	式	411,000	
・・・・現場管理費				
$12,338,000 \times ((20.460 \times 1.000) \times 1.050 + 0.000)$			2,650,000	
・・・・据付間接費			6,404,000	
・・設計技術費				
$27,167,000 \times 2.940$			799,000	
・一般管理費等				
$27,983,000 \times (22.340 \times 1.000 + 0.04)$			6,262,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
機器単体費			3,838,000	
処分費等（直接工事費の内数）			17,000	
処分費（準備費の内数）			0	
処分費（事業損失防止施設費内数）			0	
処分費等（率対象外）			0	
共通仮設費算定控除額			0	
法定福利費概算額（工事価格の内数）				
$21,392,000 \times 1.490$			319,000	

九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業				
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事				

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接製作費				5,422,000	
・水門扉製作工 大溝線	1.000	式		4,266,000	
・扉体工 大溝線1号制水門（ローラゲート2門）	1.000	式		428,000	
・・・扉体工（材料費）－水門扉－	1.000	式	249,000	249,000	1式当たり
S40040 水密ゴム 合成ゴム P形（クロロブレン系）	28.000	kg	4,300	120,400	歩A・単A S単 16号
S40040 水密ゴム 合成ゴム 平形（クロロブレン系）	20.000	kg	4,190	83,800	歩A・単A S単 17号
S40040 ステンレスボルト・ナット SUS304	24.000	kg	1,850	44,400	歩A・単A S単 18号
合 計				248,600	
・・・扉体工（吊金具（門柱））	1.000	式	179,000	179,000	1式当たり
S40001 一般構造用圧延鋼板（厚板） SS400 厚さ12mm～25mm 1500≦W≦2000, 鋼板、ステンレスクラッド鋼板, ペン-H 1, 12	135.000	kg	195	26,325	歩A・単A S単 9号
S40001 一般構造用圧延棒鋼 SS400 径9mm～11mm, 棒鋼, 鋼ダライ粉A, 20	2.000	kg	198	396	歩A・単A S単 10号
S40040 オールアンカー SUS304 M16	48.000	本	1,015	48,720	歩A・単A S単 19号
X40001 補助材料費（製作） 水門設備（プレートゲート構造ローラゲート）,, 6.5%	1.000	式	1,737	1,737	歩A・単A X単 1号
X40003 鋼製付属設備製作工 受台, 0.1≦x≦5.0, 0.00, 0.00, 1基, 1.00,, 137	1.000	基	101,712	101,712	歩A・単A X単 2号
X40014 間接労務費 鋼製付属設備,, 60%	1.000	式	61,027	61,027	歩A・単A X単 3号
X40015 工場管理費 鋼製付属設備,, 25%	1.000	式	40,685	40,685	歩A・単A X単 4号
合 計				280,602	
計（1）（直接費対象分）				178,890	
計（2）（間接費対象分）				101,712	
・・・開閉装置工	1.000	式		3,838,000	
・・・開閉装置（機器単体費・ラック式）	1.000	式	3,838,000	3,838,000	1式当たり
S40006 ラック棒 SUS304 単動40kN用 連動75kN－80kN用	22.480	m	151,000	3,394,480	歩A・単A S単 11号
S40006 ラック継手・吊りピン SCS13 単動40kN用 連動75kN－80kN用	4.000	個	111,000	444,000	歩A・単A S単 12号
合 計				3,838,480	
・小形水門扉製作工 大溝線	1.000	式		1,156,000	
・扉体工 大溝線1号制水門（転倒ゲート2門）	1.000	式		1,156,000	
・・・扉体工（材料費）－小形水門－	1.000	式	52,000	52,000	1式当たり
S40040 水密ゴム 合成ゴム L形（クロロブレン系）	7.000	kg	4,300	30,100	歩A・単A S単 20号
S40040 ステンレスボルト・ナット SUS304	12.000	kg	1,850	22,200	歩A・単A S単 18号
合 計				52,300	
・・・扉体（労務費） 転倒ゲート水密ゴム交換	2.000	門	125,000	250,000	1門当たり
T00009 転倒ゲート水密ゴム交換	1.000	門	124,800	124,800	歩A・単A T単 8号
X40015 工場管理費 小形水門設備,, 25%	1.000	式	31,200	31,200	歩A・単A X単 5号
合 計				156,000	
計（1）（直接費対象分）				124,800	
計（2）（間接費対象分）				31,200	
・・・扉体（労務費） 転倒ゲート扉体加工	2.000	門	172,000	344,000	1門当たり

九州農政局

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費				10,212,000	
・輸送費	1.000	式		39,000	
・ ・ 輸送費	1.000	式		39,000	
・ ・ ・ 輸送費（河川用水門）	1.000	式	39,000	39,000	1 式当たり
S41040 輸送費（修繕工事）現場～工場 河川・水路用水門設備,1.755ton,2.2km	1.000	式	14,000	14,000	歩A・単A S単 24号
S41040 輸送費（修繕工事）工場から現場 河川・水路用水門設備,1.755ton,2.2km	1.000	式	14,000	14,000	歩A・単A S単 25号
S41040 輸送費（修繕工事） 鋼製付属設備,0.137ton,2.2km	1.000	式	11,000	11,000	歩A・単A S単 26号
合 計				39,000	
・水門扉据付工	1.000	式		9,651,000	
・ ・ 大溝線 1 号制水門 ローラゲート	1.000	式		7,970,000	
・ ・ ・ 扉体（塗装費） 大溝線 1 号制水門（ローラゲート）	2.000	門	1,864,000	3,728,000	1 門当たり
T00001 現場塗装 塗膜除去（1種ケレン相当）厚膜エポキシ樹脂系	64.500	m ²	28,904	1,864,308	歩A・単A T単 1号
合 計				1,864,308	
・ ・ ・ 開閉装置整備	1.000	式	883,000	883,000	1 式当たり
T00013 開閉装置現場整備（タイプV）制水門2門 ローラゲート（エンジンラック式）	1.000	箇所	441,558	441,558	歩A・単A T単 11号
T00014 開閉装置現場整備（タイプV）制水門2門 転倒ゲート（手動式）	1.000	箇所	441,558	441,558	歩A・単A T単 12号
X41006 据付間接費 水門設備（小形水門を除く）【修繕】,,140%	1.000	式	1,038,442	1,038,442	歩A・単A X単 14号
合 計				1,921,558	
計（1）（直接費対象分）				883,116	
計（2）（間接費対象分）				1,038,442	
・ ・ ・ ラック棒・吊金具交換	2.000	門	168,000	336,000	1 門当たり
T00002 ラック棒・吊金具交換	1.000	門	161,905	161,905	歩A・単A T単 2号
X41006 据付間接費 水門設備（小形水門を除く）【修繕】,,140%	1.000	式	173,074	173,074	歩A・単A X単 15号
X41002 補助材料費（据付） 水門設備（小形水門設備を除く）,,4%	1.000	式	5,772	5,772	歩A・単A X単 8号
合 計				340,751	
計（1）（直接費対象分）				167,677	
計（2）（間接費対象分）				173,074	
・ ・ ・ 直接経費（据付） ラック棒・吊り金具交換	1.000	式	53,000	53,000	1 式当たり
S16004 ラフレンソールン〔油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・ｼﾞﾛｽﾄｯﾌﾟ・対型(2014)〕 ラフレンソールン(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型),16ton吊り,なし	1.000	日	51,500	51,500	歩A・単A S単 7号
X41005 雑器具損料	1.000	式	1,030	1,030	歩A・単A X単 11号
合 計				52,530	
・ ・ ・ 扉体取外し・復旧 ローラゲート	2.000	門	845,000	1,690,000	1 門当たり
T00003 扉体取外し・復旧 ローラゲート	1.000	門	815,918	815,918	歩A・単A T単 3号
X41006 据付間接費 水門設備（小形水門を除く）【修繕】,,140%	1.000	式	1,038,442	1,038,442	歩A・単A X単 16号
X41002 補助材料費（据付） 水門設備（小形水門設備を除く）,,4%	1.000	式	29,088	29,088	歩A・単A X単 9号
合 計				1,883,448	
計（1）（直接費対象分）				845,006	
計（2）（間接費対象分）				1,038,442	

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業				
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事				

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
・・・ 直接経費（据付） 扉体取外し・復旧	1.000	式	242,000	242,000	1 式当たり
S16002 高所作業車〔トラック架装・伸縮アーム・バケット型〕 ,作業床高さ11～12×積載荷重200kg×定員2,交替制補正対象外,運転1日当 たり算出	2.000	日	15,732	31,464	歩A・単A S単 6号
S16004 ラフテレンクルン〔油圧伸縮ジブ型・低騒・排対型（2014）〕 ラフテレンクルン（油圧伸縮ジブ型）,16ton吊り,なし	4.000	日	51,500	206,000	歩A・単A S単 7号
X41005 雑器具損料	1.000	式	4,749	4,749	歩A・単A X単 12号
合 計				242,213	
・・・ ローラゲート水密ゴム交換	2.000	門	247,000	494,000	1 門当たり
T00004 ローラゲート水密ゴム交換	1.000	門	247,248	247,248	歩A・単A T単 4号
X41006 据付間接費 水門設備（小形水門を除く）【修繕】,,140%	1.000	式	346,147	346,147	歩A・単A X単 17号
合 計				593,395	
計（1）（直接費対象分）				247,248	
計（2）（間接費対象分）				346,147	
・・・ 主ローラ整備	2.000	門	136,000	272,000	1 門当たり
T00006 主ローラ整備	1.000	門	135,986	135,986	歩A・単A T単 5号
X41006 据付間接費 水門設備（小形水門を除く）【修繕】,,140%	1.000	式	173,074	173,074	歩A・単A X単 18号
合 計				309,060	
計（1）（直接費対象分）				135,986	
計（2）（間接費対象分）				173,074	
・・・ サイドローラ整備	2.000	門	136,000	272,000	1 門当たり
T00007 サイドローラ整備	1.000	門	135,986	135,986	歩A・単A T単 6号
X41006 据付間接費 水門設備（小形水門を除く）【修繕】,,140%	1.000	式	173,074	173,074	歩A・単A X単 19号
合 計				309,060	
計（1）（直接費対象分）				135,986	
計（2）（間接費対象分）				173,074	
・・・ 大溝線1号制水門 転倒ゲート	1.000	式		1,681,000	
・・・ 扉体取外し・復旧 転倒ゲート	2.000	門	720,000	1,440,000	1 門当たり
T00008 扉体取外し・復旧 転倒ゲート	1.000	門	695,416	695,416	歩A・単A T単 7号
X41006 据付間接費 水門設備（小形水門を除く）【修繕】,,140%	1.000	式	692,294	692,294	歩A・単A X単 20号
X41002 補助材料費（据付） 水門設備（小形水門設備を除く）,,4%	1.000	式	24,792	24,792	歩A・単A X単 10号
合 計				1,412,502	
計（1）（直接費対象分）				720,208	
計（2）（間接費対象分）				692,294	
・・・ 直接経費（据付） 扉体取外し・復旧	1.000	式	105,000	105,000	1 式当たり
S16004 ラフテレンクルン〔油圧伸縮ジブ型・低騒・排対型（2014）〕 ラフテレンクルン（油圧伸縮ジブ型）,16ton吊り,なし	2.000	日	51,500	103,000	歩A・単A S単 7号
X41005 雑器具損料	1.000	式	2,060	2,060	歩A・単A X単 13号
合 計				105,060	

九州農政局

九州農政局

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 1号 ***					
S02115	潜水土					
	潜水土		人	45,900		歩A・単A
	*** S単ー 2号 ***					
S02115	交通誘導警備員B					
	交通誘導警備員B		人	15,198		歩A・単A
	*** S単ー 3号 ***					
S02116	塗装剥離剤					
	塗装剥離剤 ,,環境対応型塗膜剥離剤（水系非危険物）		kg	1,750		歩A・単A
	*** S単ー 4号 ***					
S02123	建設廃材					
	建設廃材 ゴムくず		kg	30		歩A・単A
	*** S単ー 5号 ***					
S02123	建設廃材運搬費					
	建設廃材運搬費 4 t 車（ゴムくず）		台	15,000		歩A・単A
	*** S単ー 6号 ***					
S16002	高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム・バスケット型]					
	高所作業車[トラック架装・伸縮ブーム・バスケット型] 、作業床高さ11～12×積載荷重200kg×定員2、交替制補正対象外、運転1日当たり算出		日	15,732		歩A・単A
	*** S単ー 7号 ***					
S16004	ラフレックレン[油圧伸縮ジブ型・低騒・排対型(2014)]					
	ラフレックレン[油圧伸縮ジブ型・低騒・排対型(2014)] ラフレックレン(油圧伸縮ジブ型),16ton吊り,なし		日	51,500		歩A・単A
	*** S単ー 8号 ***					
S18031	足場工					
	足場工 あり,手摺先行型枠組,なし		掛㎡	5,318		歩A・単A
	*** S単ー 9号 ***					
S40001	一般構造用圧延鋼板(厚板)					
	一般構造用圧延鋼板(厚板) SS400 厚さ12mm～25mm 1500≦W≦2000,鋼板、ステンレスフラット鋼板,ペー-H 1, 12		kg	195		歩A・単A
	*** S単ー 10号 ***					
S40001	一般構造用圧延棒鋼					
	一般構造用圧延棒鋼 SS400 径9mm～11mm,棒鋼,鋼ライ粉A, 20		kg	198		歩A・単A
	*** S単ー 11号 ***					
S40006	ラック棒 SUS304					
	ラック棒 SUS304 単動40kN用 連動75kN～80kN用		m	151,000		歩A・単A
	*** S単ー 12号 ***					
S40006	ラック継手・吊りピン SCS13					
	ラック継手・吊りピン SCS13 単動40kN用 連動75kN～80kN用		個	111,000		歩A・単A
	*** S単ー 13号 ***					
S40025	素地調整費(水門【積上】、鋼製付属)工場					
	素地調整費(水門【積上】、鋼製付属)工場 1種(製品),プライマーなし		㎡	2,000		歩A・単A
	*** S単ー 14号 ***					
S40026	塗装費(水門設備)工場【積上】					
	塗装費(水門設備)工場【積上】 厚膜エポキシ樹脂系,淡彩色		㎡	12,082		歩A・単A
	*** S単ー 15号 ***					
S40032	塗装費【積上】					
	塗装費【積上】		㎡	27,031		歩A・単A
	*** S単ー 16号 ***					
S40040	水密ゴム 合成ゴム					
	水密ゴム 合成ゴム P形(クロロブレン系)		kg	4,300		歩A・単A
	*** S単ー 17号 ***					
S40040	水密ゴム 合成ゴム					
	水密ゴム 合成ゴム 平形(クロロブレン系)		kg	4,190		歩A・単A
	*** S単ー 18号 ***					
S40040	ステンレスボルト・ナット					
	ステンレスボルト・ナット SUS304		kg	1,850		歩A・単A
	*** S単ー 19号 ***					
S40040	オールアンカー					
	オールアンカー SUS304 M16		本	1,015		歩A・単A
	*** S単ー 20号 ***					
S40040	水密ゴム 合成ゴム					
	水密ゴム 合成ゴム L形(クロロブレン系)		kg	4,300		歩A・単A
	*** S単ー 21号 ***					
S41001	〔施設機械労務単価〕					
	〔施設機械労務単価〕 、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、製作工		人	31,200		歩A・単A

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業				
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事				

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S41001	*** S単－ 22号 *** 〔施設機械労務単価〕					
	〔施設機械労務単価〕 水門、ゲム水門、除塵機、鋼製付属設備、据 付 工		人	30,906		歩A・単A
S41001	*** S単－ 23号 *** 〔施設機械労務単価〕					
	〔施設機械労務単価〕 水門、ゲム水門、除塵機、鋼製付属設備、普通作業員		人	23,562		歩A・単A
S41040	*** S単－ 24号 *** 輸送費（修繕工事）現場～工場					
	輸送費（修繕工事） 河川・水路用水門設備,1.755ton,2.2km		式	14,000		歩A・単A
S41040	*** S単－ 25号 *** 輸送費（修繕工事）工場から現場					
	輸送費（修繕工事） 河川・水路用水門設備,1.755ton,2.2km		式	14,000		歩A・単A
S41040	*** S単－ 26号 *** 輸送費（修繕工事）					
	輸送費（修繕工事） 鋼製付属設備,0.137ton,2.2km		式	11,000		歩A・単A
X40001	*** X単－ 1号 *** 補助材料費(製作)					
	補助材料費(製作) 水門設備(プレートゲム構造プレート),,6.5%		式	1,737		歩A・単A
X40003	*** X単－ 2号 *** 鋼製付属設備製作工					
	鋼製付属設備製作工 受台,0.1≦x≦5.0,0.00,0.00,1基,1.00,,137		基	101,712		歩A・単A
X40014	*** X単－ 3号 *** 間接労務費					
	間接労務費 鋼製付属設備,,60%		式	61,027		歩A・単A
X40015	*** X単－ 4号 *** 工場管理費					
	工場管理費 鋼製付属設備,,25%		式	40,685		歩A・単A
X40015	*** X単－ 5号 *** 工場管理費					
	工場管理費 小形水門設備,,25%		式	31,200		歩A・単A
X40015	*** X単－ 6号 *** 工場管理費					
	工場管理費 小形水門設備,,25%		式	39,000		歩A・単A
X40015	*** X単－ 7号 *** 工場管理費					
	工場管理費 小形水門設備,,25%		式	63,721		歩A・単A
X41002	*** X単－ 8号 *** 補助材料費(据付)					
	補助材料費(据付) 水門設備（小形水門設備を除く）,,4%		式	5,772		歩A・単A
X41002	*** X単－ 9号 *** 補助材料費(据付)					
	補助材料費(据付) 水門設備（小形水門設備を除く）,,4%		式	29,088		歩A・単A
X41002	*** X単－ 10号 *** 補助材料費(据付)					
	補助材料費(据付) 水門設備（小形水門設備を除く）,,4%		式	24,792		歩A・単A
X41005	*** X単－ 11号 *** 雑器具損料					
	雑器具損料		式	1,030		歩A・単A
X41005	*** X単－ 12号 *** 雑器具損料					
	雑器具損料		式	4,749		歩A・単A
X41005	*** X単－ 13号 *** 雑器具損料					
	雑器具損料		式	2,060		歩A・単A
X41006	*** X単－ 14号 *** 据付間接費					
	据付間接費 水門設備(小形水門を除く)【修繕】,,140%		式	1,038,442		歩A・単A
X41006	*** X単－ 15号 *** 据付間接費					
	据付間接費 水門設備(小形水門を除く)【修繕】,,140%		式	173,074		歩A・単A
X41006	*** X単－ 16号 *** 据付間接費					
	据付間接費 水門設備(小形水門を除く)【修繕】,,140%		式	1,038,442		歩A・単A

[illegible]

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業				
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事				

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 1号 ***					
S02115	潜水土		人		1,000	歩A 当たり算出
	潜水土			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R01082 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
R01082	潜水土	1,000	人	45,900	45,900	
	合 計				45,900	算出数量 1,000 人
	単 価				45,900	
	*** S単－ 2号 ***					
S02115	交通誘導警備員B		人		1,000	歩A 当たり算出
	交通誘導警備員B			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R01032 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
R01032	交通誘導警備員B	1,000	人	15,198	15,198	
	合 計				15,198	算出数量 1,000 人
	単 価				15,198	
	*** S単－ 3号 ***					
S02116	塗装剥離剤		kg		1,000	歩A 当たり算出
	塗装剥離剤 ,,環境対応型塗膜剥離剤（水系非危険物）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 資材区分 2) 地域資材単価コード（P） 3) 地区資材単価コード（J） 4) 施設機械資材単価コード（K）	施設機械資材（Kコード） K96003		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
K96003	塗装剥離剤 環境対応型塗膜剥離剤（水系非危険物）	1,000	kg	1,750	1,750	
	合 計				1,750	算出数量 1,000 各単位
	単 価				1,750	
	*** S単－ 4号 ***					
S02123	建設廃材		kg		1,000	歩A 当たり算出
	建設廃材 ゴムくず			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格 3) 単価の入力	P96001 ゴムくず 30円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
P96001	建設廃材 ゴムくず	1,000	kg	30	30	
	合 計				30	算出数量 1,000 各単位
	単 価				30	
	*** S単－ 5号 ***					
S02123	建設廃材運搬費		台		1,000	歩A 当たり算出
	建設廃材運搬費 4 t 車（ゴムくず）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 地域資材単価コード 2) 資材規格 3) 単価の入力	P96002 4 t 車（ゴムくず） 15,000円		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
P96002	建設廃材運搬費 4 t 車（ゴムくず）	1,000	台	15,000	15,000	
	合 計				15,000	算出数量 1,000 各単位

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業				
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価				15,000	
	*** S単－ 6号 ***					
S16002	高所作業車〔トラック架装・伸縮ﾌﾞｰﾑ・ﾊﾞｽｹｯﾄ型〕		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	高所作業車〔トラック架装・伸縮ﾌﾞｰﾑ・ﾊﾞｽｹｯﾄ型〕 、作業床高さ11～12×積載荷重200kg×定員2、交替制補正対象外、運 転1日当たり算出			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)機械コード《単位が日のみ》	M04421		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	2)機械損料算出区分	運転1日当たり算出				
	3)運転1日当たり運転時間(T)	3.6				
	4)運転日に対する供用日の割合(YC)	1.40				
	5)単価計上区分	機械損料+燃料				
	6)燃料区分	軽油				
	7)燃料の計上方法	燃料消費量入力				
	8)燃料消費量(入力の場合)	13.0				
	9)交替制作業補正区分	交替制補正対象外				
M04421	高所作業車〔トラック架装・伸縮ﾌﾞｰﾑ・ﾊﾞｽｹｯﾄ型〕					
	作業床高さ11～12×積載荷重200kg×定員2	1.400	供用日	9,900	13,860	
P34029	軽油					
	ﾊﾞﾄﾚｰﾙ給油	13.000	L	144	1,872	
	合 計				15,732	算出数量 1,000 各単位
	単 価		各単位		15,732	
Y00001	単位					
	*** S単－ 7号 ***					
S16004	ﾌﾞﾚｰﾝｸﾚｰﾝ〔油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・～低騒・排対型(～2014)〕		日		1,000 日	歩A 当たり算出
	ﾌﾞﾚｰﾝｸﾚｰﾝ〔油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・～低騒・排対型(～2014)〕 ﾌﾞﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型),16ton吊り,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械区分	ﾌﾞﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)規格	16ton吊り		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	3)運転1日当たり運転時間(T)	0.0				
	4)運転日に対する供用日の割合(YC)	0.00				
	5)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
F01084	ﾌﾞﾚｰﾝｸﾚｰﾝ〔油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・～低騒・排対型(～2014)〕					
	吊上能力16t吊	1.000	日	51,500	51,500	
	合 計				51,500	算出数量 1,000 日
	単 価		日		51,500	
	*** S単－ 8号 ***					
S18031	足場工		掛㎡		100,000 掛㎡	歩A 当たり算出
	足場工 あり,手摺先行型枠組,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)足場区分	手摺先行型枠組		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)安全ネット区分	あり		深夜時間:0.0	週休:月単位	
	3)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
R01001	土木一般世話役	1.600	人	30,702	49,123	
R01012	とび工	8.500	人	29,070	247,095	
R01003	普通作業員	1.300	人	23,562	30,631	
F01086	ﾌﾞﾚｰﾝｸﾚｰﾝ〔油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型・～低騒・排対型(～2014)〕					
	吊上能力25t吊	1.400	日	56,500	79,100	
Y00004	諸雑費	0.310		405,949	125,844	
	合 計				531,793	算出数量 100,000 掛㎡
	単 価		掛㎡		5,318	
	*** S単－ 9号 ***					
S40001	一般構造用圧延鋼板（厚板）		kg		1,000 kg	歩A 当たり算出
	一般構造用圧延鋼板（厚板） SS400 厚さ12mm～25mm 1500≦W≦2000, 鋼板、ステンレスﾌﾗｯﾄﾞ 鋼板、ﾍﾞ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ヘビ－H 1, 12			豪雪補正: なし 基本給時間: 8. 0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0. 0	
	1) 材料(鋼材)コード 2) 材料規格	K01073 SS400 厚さ12mm～25mm 1500・・		深夜時間: 0. 0	週休: 補正なし	
	3) 材料名 4) スクラップの該当品目	鋼板、ステンレスフラット鋼板 ヘビ－H 1				
	5) 材料割増率(%)	12. 000				
K01073	一般構造用圧延鋼板（厚板） SS400 厚さ12mm～25mm 1500≦W≦2000	1. 000	kg	195	195	
	合 計				195	算出数量 1. 000 kg
	単 価		kg		195	
K16141	スクラップ ヘビ－H 1	1. 000	kg	31. 20	31	
	*** S 単－ 10号 ***					
S40001	一般構造用圧延棒鋼		kg		1. 000 kg	歩A 当たり算出
	一般構造用圧延棒鋼 SS400 径9mm～11mm, 棒鋼, 鋼ダライ粉A, 20			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0. 0	制約作業時間: 0. 0 冬期補正: なし	
	1) 材料(鋼材)コード 2) 材料規格	K01001 SS400 径9mm～11mm		豪雪補正: なし 基本給時間: 8. 0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0. 0	
	3) 材料名 4) スクラップの該当品目	棒鋼 鋼ダライ粉A		深夜時間: 0. 0	週休: 補正なし	
	5) 材料割増率(%)	20. 000				
K01001	一般構造用圧延棒鋼 SS400 径9mm～11mm	1. 000	kg	198	198	
	合 計				198	算出数量 1. 000 kg
	単 価		kg		198	
K16142	スクラップ 鋼ダライ粉A	1. 000	kg	25. 70	26	
	*** S 単－ 11号 ***					
S40006	ラック棒 SUS304		m		1. 000 各単位	歩A 当たり算出
	ラック棒 SUS304 単動40kN用 連動75kN－80kN用			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0. 0	制約作業時間: 0. 0 冬期補正: なし	
	1) 基礎データコード 2) 規格	K26224 単動40kN用 連動75kN－80kN用		豪雪補正: なし 基本給時間: 8. 0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0. 0	
				深夜時間: 0. 0	週休: 補正なし	
K26224	ラック棒 SUS304 単動40kN用 連動75kN－80kN用	1. 000	m	151, 000	151, 000	
	合 計				151, 000	算出数量 1. 000 各単位
	単 価				151, 000	
	*** S 単－ 12号 ***					
S40006	ラック継手・吊りピン SCS13		個		1. 000 各単位	歩A 当たり算出
	ラック継手・吊りピン SCS13 単動40kN用 連動75kN－80kN用			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0. 0	制約作業時間: 0. 0 冬期補正: なし	
	1) 基礎データコード 2) 規格	K26314 単動40kN用 連動75kN－80kN用		豪雪補正: なし 基本給時間: 8. 0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0. 0	
				深夜時間: 0. 0	週休: 補正なし	
K26314	ラック継手・吊りピン SCS13 単動40kN用 連動75kN－80kN用	1. 000	個	111, 000	111, 000	
	合 計				111, 000	算出数量 1. 000 各単位
	単 価				111, 000	
	*** S 単－ 13号 ***					
S40025	素地調整費(水門【積上】、鋼製付属)工場		m ²		100. 000 m ²	歩A 当たり算出
	素地調整費(水門【積上】、鋼製付属)工場 1 種(製品), プライマーなし			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0. 0	制約作業時間: 0. 0 冬期補正: なし	
	1) 素地調整区分 2) プライマー区分	1 種(製品) プライマーなし		豪雪補正: なし 基本給時間: 8. 0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0. 0	
	3) 施工面積 (m ²)	18. 1 m ²		深夜時間: 0. 0	週休: 補正なし	

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
K78003	ケレン材料 (ショット)	60.000	kg	225	13,500	
R01053	橋りょう塗装工 (素地調整)	5.500	人	33,900	186,450	
	合 計				199,950	算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²		2,000	
	*** S単ー 14号 ***					
S40026	塗装費(水門設備)工場【積上】		m ²		100.000 m ²	歩A 当たり算出
	塗装費(水門設備)工場【積上】 厚膜エポキシ樹脂系, 淡彩色			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 塗装仕様区分 2) 色区分	厚膜エポキシ樹脂系 淡彩色		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	3) 施工面積 (m ²)	18.1		深夜時間: 0.0	週休: 補正なし	
K78161	ジンクリッチペイント (厚膜型) 有機系	65.000	kg	1,650	107,250	
K78592	シンナー ジンクリッチプライマー用〔有機〕	5.900	kg	740	4,366	
K78351	エポキシ樹脂系塗料 下塗用 (赤さび色、グレー又はねずみ色)	16.000	kg	1,500	24,000	
K78598	シンナー エポキシ樹脂塗料用	8.000	kg	748	5,984	
K78351	エポキシ樹脂系塗料 下塗用 (赤さび色、グレー又はねずみ色)	50.000	kg	1,500	75,000	
K78598	シンナー エポキシ樹脂塗料用	4.500	kg	748	3,366	
K78351	エポキシ樹脂系塗料 下塗用 (赤さび色、グレー又はねずみ色)	50.000	kg	1,500	75,000	
K78598	シンナー エポキシ樹脂塗料用	4.500	kg	748	3,366	
K78354	エポキシ樹脂系塗料 中塗用〔淡彩色〕	22.000	kg	1,740	38,280	
K78598	シンナー エポキシ樹脂塗料用	2.000	kg	748	1,496	
K78357	エポキシ樹脂系塗料 上塗用〔淡彩色〕	20.000	kg	1,740	34,800	
K78598	シンナー エポキシ樹脂塗料用	1.800	kg	748	1,346	
R01053	橋りょう塗装工	24.600	人	33,900	833,940	
	合 計				1,208,194	算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²		12,082	
	*** S単ー 15号 ***					
S40032	塗装費【積上】		m ²		100.000 m ²	歩A 当たり算出
	塗装費【積上】			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 塗装条件	現場塗装		豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0	
	2) 第1層 塗料 材料	K78161[各単位]		深夜時間: 0.0	週休: 月単位	
	3) 第1層 塗料の使用数量	50.0kg				
	4) 第1層 希釈剤 材料	K78592[各単位]				
	5) 第1層 希釈剤の使用数量	4.5kg				
	6) 第2層 塗料 材料	K78351[各単位]				
	7) 第2層 塗料の使用数量	12.0kg				
	8) 第2層 希釈剤 材料	K78598[各単位]				
	9) 第2層 希釈剤の使用数量	6.0kg				
	10) 第3層 塗料 材料	K78351[各単位]				
	11) 第3層 塗料の使用数量	38.0kg				
	12) 第3層 希釈剤 材料	K78598[各単位]				
	13) 第3層 希釈剤の使用数量	3.5kg				
	14) 第4層 塗料 材料	K78351[各単位]				
	15) 第4層 塗料の使用数量	38.0kg				
	16) 第4層 希釈剤 材料	K78598[各単位]				
	17) 第4層 希釈剤の使用数量	3.5kg				
	18) 第5層 塗料 材料	K78354[各単位]				
	19) 第5層 塗料の使用数量	18.0kg				
	20) 第5層 希釈剤 材料	K78598[各単位]				
	21) 第5層 希釈剤の使用数量	1.6kg				
	22) 第6層 塗料 材料	K78354[各単位]				
	23) 第6層 塗料の使用数量	17.0kg				
	24) 第6層 希釈剤 材料	K78598[各単位]				
	25) 第6層 希釈剤の使用数量	1.5kg				
	26) 労務歩掛	46.51人				
	27) 諸雑費率 (%)	50%				
	28) 補助文 (塗装規格)					

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
K78161	ジンクリッチペイント（厚膜型） 有機系	50.000	kg	1,650	82,500	
K78592	シンナー ジンクリッチプライマー用〔有機〕	4.500	kg	740	3,330	
K78351	エポキシ樹脂系塗料 下塗用（赤さび色、グレー又はねずみ色）	12.000	kg	1,500	18,000	
K78598	シンナー エポキシ樹脂塗料用	6.000	kg	748	4,488	
K78351	エポキシ樹脂系塗料 下塗用（赤さび色、グレー又はねずみ色）	38.000	kg	1,500	57,000	
K78598	シンナー エポキシ樹脂塗料用	3.500	kg	748	2,618	
K78351	エポキシ樹脂系塗料 下塗用（赤さび色、グレー又はねずみ色）	38.000	kg	1,500	57,000	
K78598	シンナー エポキシ樹脂塗料用	3.500	kg	748	2,618	
K78354	エポキシ樹脂系塗料 中塗用〔淡彩色〕	18.000	kg	1,740	31,320	
K78598	シンナー エポキシ樹脂塗料用	1.600	kg	748	1,197	
K78354	エポキシ樹脂系塗料 中塗用〔淡彩色〕	17.000	kg	1,740	29,580	
K78598	シンナー エポキシ樹脂塗料用	1.500	kg	748	1,122	
R01053	橋りょう塗装工	46.510	人	34,578	1,608,223	
Y00004	諸雑費	0.500		1,608,223	804,112	
	合 計				2,703,108	算出数量 100.000 m ²
	単 価				27,031	
	*** S単ー 16号 ***					
S40040	水密ゴム 合成ゴム		kg		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	水密ゴム 合成ゴム P形（クロロブレン系）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)基礎データコード 2)規格	K33023 P形（クロロブレン系）		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
K33023	水密ゴム 合成ゴム P形（クロロブレン系）	1.000	kg		4,300	
	合 計				4,300	算出数量 1.000 各単位
	単 価				4,300	
	*** S単ー 17号 ***					
S40040	水密ゴム 合成ゴム		kg		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	水密ゴム 合成ゴム 平形（クロロブレン系）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)基礎データコード 2)規格	K33021 平形（クロロブレン系）		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
K33021	水密ゴム 合成ゴム 平形（クロロブレン系）	1.000	kg		4,190	
	合 計				4,190	算出数量 1.000 各単位
	単 価				4,190	
	*** S単ー 18号 ***					
S40040	ステンレスボルト・ナット		kg		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ステンレスボルト・ナット SUS304			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)基礎データコード 2)規格	K35021 SUS304		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
K35021	ステンレスボルト・ナット SUS304	1.000	kg		1,850	
	合 計				1,850	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,850	

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業				
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 19号 ***					
S40040	オールアンカー		本		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	オールアンカー SUS304 M16			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)基礎デ-カット 2)規格	K96005 SUS304 M16		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	
K96005	オールアンカー SUS304 M16	1,000	本	1,015	1,015	
	合 計				1,015	算出数量 1,000 各単位
	単 価				1,015	
	*** S単ー 20号 ***					
S40040	水密ゴム 合成ゴム		kg		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	水密ゴム 合成ゴム L形（クロロブレン系）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)基礎デ-カット 2)規格	K33022 L形（クロロブレン系）		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	
K33022	水密ゴム 合成ゴム L形（クロロブレン系）	1,000	kg	4,300	4,300	
	合 計				4,300	算出数量 1,000 各単位
	単 価				4,300	
	*** S単ー 21号 ***					
S41001	〔施設機械労務単価〕		人		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	〔施設機械労務単価〕 ,水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備,製 作 工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分 2)労務者区分 3)その他の補助文	水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備 製 作 工		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	
R03001	製 作 工	1,000	人	31,200	31,200	
	合 計				31,200	算出数量 1,000 [各単位]
	単 価				31,200	
	*** S単ー 22号 ***					
S41001	〔施設機械労務単価〕		人		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	〔施設機械労務単価〕 ,水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備,据 付 工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分 2)労務者区分 3)その他の補助文	水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備 据 付 工		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
R03002	据 付 工	1,000	人	30,906	30,906	
	合 計				30,906	算出数量 1,000 [各単位]
	単 価				30,906	
	*** S単ー 23号 ***					
S41001	〔施設機械労務単価〕		人		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	〔施設機械労務単価〕 ,水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備,普通作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分 2)労務者区分 3)その他の補助文	水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備 普通作業員		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:月単位	
R01003	普通作業員	1,000	人	23,562	23,562	

九州農政局

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業				
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** X単－ 1号 ***					
X40001	補助材料費(製作)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	補助材料費(製作)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	水門設備(ﾌﾟﾚｰﾄｶﾞｰﾀﾞｰ構造ﾎｰﾗﾞﾞｰﾄ),,6.5%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 工種区分	水門設備(ﾌﾟﾚｰﾄｶﾞｰﾀﾞｰ構造ﾎｰﾗﾞﾞｰﾄ)		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	2) 製作補助材料費率(Y)	6.500%				
	3) 工種区分の名称					
	4) 主要部材費金額小計(円)	26,721.000円				
	5) 副部材費金額小計(円)	0.000円				
K79351	製作補助材料費	0.065	式	26,721	1,737	
	合 計				1,737	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,737	
	*** X単－ 2号 ***					
X40003	鋼製付属設備製作工		基		1.000 基	歩A 当たり算出
	鋼製付属設備製作工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	受台,0.1≦x≦5.0,0.00,0.00,1基,1.00,,137			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 設備区分	受台		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	2) 適用範囲(ton/基)	0.1≦x≦5.0				
	3) その他の製作工数(人／t o n)	0.00				
	4) 部材の混合比率	0.00				
	5) 製作基数	1 基				
	6) 製作数による補正係数(K n)	1.00				
	7) 鋼製付属設備名称					
	8) 製作対象質量(kg/基)	137.000				
R03001	製作工	3.260	人	31,200	101,712	
	合 計				101,712	算出数量 1.000 基
	単 価		基		101,712	
	*** X単－ 3号 ***					
X40014	間接労務費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	間接労務費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	鋼製付属設備,,60%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 工種区分	鋼製付属設備		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	2) 間接労務費率(Y)	60.000%				
	3) 工種区分の名称					
	4) 製作工金額小計(円)	101,712.000円				
K79311	間接労務費	0.600	式	101,712	61,027	
	合 計				61,027	算出数量 1.000 式
	単 価				61,027	
	*** X単－ 4号 ***					
X40015	工場管理費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	工場管理費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	鋼製付属設備,,25%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 工種区分	鋼製付属設備		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	2) 工場管理費率(Y)	25.000%				
	3) 工種区分の名称					
	4) 工場管理費対象金額小計 (円)	162,739.000円				
K79331	工場管理費	0.250	式	162,739	40,685	
	合 計				40,685	算出数量 1.000 式
	単 価		式		40,685	
	*** X単－ 5号 ***					
X40015	工場管理費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	工場管理費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	小形水門設備,,25%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 工種区分	小形水門設備				
	2) 工場管理費率(Y)	25.000%				

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業				
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3) 工種区分の名称 4) 工場管理費対象金額小計（円）	124,800.000円		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
K79331	工場管理費	0.250	式	124,800	31,200	
	合 計				31,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		31,200	
	*** X単－ 6号 ***					
X40015	工場管理費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	工場管理費 小形水門設備,,25%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 工種区分 2) 工場管理費率(Y)	小形水門設備 25.000%		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 工種区分の名称 4) 工場管理費対象金額小計（円）	156,000.000円		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
K79331	工場管理費	0.250	式	156,000	39,000	
	合 計				39,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		39,000	
	*** X単－ 7号 ***					
X40015	工場管理費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	工場管理費 小形水門設備,,25%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 工種区分 2) 工場管理費率(Y)	小形水門設備 25.000%		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 工種区分の名称 4) 工場管理費対象金額小計（円）	254,884.000円		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
K79331	工場管理費	0.250	式	254,884	63,721	
	合 計				63,721	算出数量 1.000 式
	単 価		式		63,721	
	*** X単－ 8号 ***					
X41002	補助材料費(据付)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	補助材料費(据付) 水門設備（小形水門設備を除く）,,4%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 工種区分 2) 据付補助材料費率(Y)	水門設備（小形水門設備を除く） 4.000%		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 工種区分の名称 4) 据付材料費対象金額小計(円)	144,300.000円		深夜時間:0.0	週休:月単位	
K79391	据付補助材料費	0.040	式	144,300	5,772	
	合 計				5,772	算出数量 1.000 式
	単 価		式		5,772	
	*** X単－ 9号 ***					
X41002	補助材料費(据付)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	補助材料費(据付) 水門設備（小形水門設備を除く）,,4%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 工種区分 2) 据付補助材料費率(Y)	水門設備（小形水門設備を除く） 4.000%		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 工種区分の名称 4) 据付材料費対象金額小計(円)	727,200.000円		深夜時間:0.0	週休:月単位	
K79391	据付補助材料費	0.040	式	727,200	29,088	
	合 計				29,088	算出数量 1.000 式
	単 価		式		29,088	
	*** X単－ 10号 ***					
X41002	補助材料費(据付)		式		1.000 式	歩A 当たり算出

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	補助材料費(据付) 水門設備（小形水門設備を除く）, , 4%			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0. 0	制約作業時間: 0. 0 冬期補正: なし	
	1) 工種区分 2) 据付補助材料費率(Y)	水門設備（小形水門設備を除く） 4. 000%		豪雪補正: なし 基本給時間: 8. 0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0. 0	
	3) 工種区分の名称 4) 据付材料費対象金額小計(円)			深夜時間: 0. 0	週休: 月単位	
K79391	据付補助材料費	619, 800. 000円				
		0. 040	式	619, 800	24, 792	
	合 計				24, 792	算出数量 1. 000 式
	単 価		式		24, 792	
	*** X単一 11号 ***					
X41005	雑器具損料		式		1. 000 式	歩A 当たり算出
	雑器具損料			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0. 0	制約作業時間: 0. 0 冬期補正: なし	
	1) 雑器具損料対象金額小計(円)	51, 500. 000		豪雪補正: なし 基本給時間: 8. 0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0. 0	
				深夜時間: 0. 0	週休: 月単位	
K79411	雑器具損料					
		0. 020	式	51, 500	1, 030	
	合 計				1, 030	算出数量 1. 000 式
	単 価		式		1, 030	
	*** X単一 12号 ***					
X41005	雑器具損料		式		1. 000 式	歩A 当たり算出
	雑器具損料			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0. 0	制約作業時間: 0. 0 冬期補正: なし	
	1) 雑器具損料対象金額小計(円)	237, 464. 000		豪雪補正: なし 基本給時間: 8. 0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0. 0	
				深夜時間: 0. 0	週休: 月単位	
K79411	雑器具損料					
		0. 020	式	237, 464	4, 749	
	合 計				4, 749	算出数量 1. 000 式
	単 価		式		4, 749	
	*** X単一 13号 ***					
X41005	雑器具損料		式		1. 000 式	歩A 当たり算出
	雑器具損料			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0. 0	制約作業時間: 0. 0 冬期補正: なし	
	1) 雑器具損料対象金額小計(円)	103, 000. 000		豪雪補正: なし 基本給時間: 8. 0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0. 0	
				深夜時間: 0. 0	週休: 月単位	
K79411	雑器具損料					
		0. 020	式	103, 000	2, 060	
	合 計				2, 060	算出数量 1. 000 式
	単 価		式		2, 060	
	*** X単一 14号 ***					
X41006	据付間接費		式		1. 000 式	歩A 当たり算出
	据付間接費 水門設備(小形水門を除く)【修繕】, , 140%			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0. 0	制約作業時間: 0. 0 冬期補正: なし	
	1) 工種区分 2) 据付間接費率(Y)	水門設備(小形水門を除く)【修繕】 140. 000%		豪雪補正: なし 基本給時間: 8. 0	亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0. 0	
	3) 工種区分の名称 4) 据付工対象金額(円)			深夜時間: 0. 0	週休: 月単位	
K79251	据付間接費	741, 744. 000				
		1. 400	式	741, 744	1, 038, 442	
	合 計				1, 038, 442	算出数量 1. 000 式
	単 価		式		1, 038, 442	

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業				
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事				

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** X単一 15号 ***					
X41006	据付間接費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	据付間接費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	水門設備(小形水門を除く)【修繕】, ,140%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 工種区分	水門設備(小形水門を除く)【修繕】				
	2) 据付間接費率(Y)	140.000%				
	3) 工種区分の名称			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4) 据付工対象金額(円)	123,624.000				
K79251	据付間接費		式	123,624	173,074	
	合 計				173,074	算出数量 1.000 式
	単 価		式		173,074	
	*** X単一 16号 ***					
X41006	据付間接費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	据付間接費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	水門設備(小形水門を除く)【修繕】, ,140%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 工種区分	水門設備(小形水門を除く)【修繕】				
	2) 据付間接費率(Y)	140.000%				
	3) 工種区分の名称			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4) 据付工対象金額(円)	741,744.000				
K79251	据付間接費		式	741,744	1,038,442	
	合 計				1,038,442	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,038,442	
	*** X単一 17号 ***					
X41006	据付間接費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	据付間接費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	水門設備(小形水門を除く)【修繕】, ,140%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 工種区分	水門設備(小形水門を除く)【修繕】				
	2) 据付間接費率(Y)	140.000%				
	3) 工種区分の名称			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4) 据付工対象金額(円)	247,248.000				
K79251	据付間接費		式	247,248	346,147	
	合 計				346,147	算出数量 1.000 式
	単 価		式		346,147	
	*** X単一 18号 ***					
X41006	据付間接費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	据付間接費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	水門設備(小形水門を除く)【修繕】, ,140%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 工種区分	水門設備(小形水門を除く)【修繕】				
	2) 据付間接費率(Y)	140.000%				
	3) 工種区分の名称			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4) 据付工対象金額(円)	123,624.000				
K79251	据付間接費		式	123,624	173,074	
	合 計				173,074	算出数量 1.000 式
	単 価		式		173,074	
	*** X単一 19号 ***					
X41006	据付間接費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	据付間接費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	水門設備(小形水門を除く)【修繕】, ,140%			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1) 工種区分	水門設備(小形水門を除く)【修繕】				
	2) 据付間接費率(Y)	140.000%				
	3) 工種区分の名称			深夜時間:0.0	週休:月単位	
	4) 据付工対象金額(円)	123,624.000				
K79251	据付間接費		式	123,624	173,074	
	合 計				173,074	算出数量 1.000 式

九州農政局

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T単ー 1号 ***					
T00001	現場塗装		m ²		100,000	歩A 当たり算出
	塗膜除去（1種ケレン相当）厚膜エポキシ樹脂系					
S02116	塗装剥離剤					
	、環境対応型塗膜剥離剤（水系非危険物）	107,000	kg	1,750	187,250	S単 3号
S40032	塗装費【積上】	100,000	m ²	27,031	2,703,100	S単 15号
	合 計				2,890,350	算出数量 100,000 m ²
	単 価		m ²		28,904	
	*** T単ー 2号 ***					
T00002	ラック棒・吊金具交換		門		1,000	歩A 当たり算出
S41001	〔施設機械労務単価〕					
	、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備, 据 付 工	4,000	人	30,906	123,624	S単 22号
S41001	〔施設機械労務単価〕					
	、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備, 普通作業員	1,000	人	23,562	23,562	S単 23号
Y00004	雑品	0,100		147,186	14,719	
	合 計				161,905	算出数量 1,000 門
	単 価		門		161,905	
	*** T単ー 3号 ***					
T00003	扉体取外し・復旧		門		1,000	歩A 当たり算出
	ローラゲート					
S41001	〔施設機械労務単価〕					
	、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備, 据 付 工	24,000	人	30,906	741,744	S単 22号
Y00004	雑品	0,100		741,744	74,174	
	合 計				815,918	算出数量 1,000 門
	単 価		門		815,918	
	*** T単ー 4号 ***					
T00004	ローラゲート水密ゴム交換		門		1,000	歩A 当たり算出
S41001	〔施設機械労務単価〕					
	、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備, 据 付 工	8,000	人	30,906	247,248	S単 22号
	合 計				247,248	算出数量 1,000 門
	単 価		門		247,248	
	*** T単ー 5号 ***					
T00006	主ローラ整備		門		1,000	歩A 当たり算出
S41001	〔施設機械労務単価〕					
	、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備, 据 付 工	4,000	人	30,906	123,624	S単 22号
Y00004	雑品	0,100		123,624	12,362	
	合 計				135,986	算出数量 1,000 門
	単 価		門		135,986	
	*** T単ー 6号 ***					
T00007	サイドローラ整備		門		1,000	歩A 当たり算出

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業				
工事名	排水路設備（大溝線他）改修工事				

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S41001	〔施設機械労務単価〕 、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、据 付 工	4.000	人	30,906	123,624	S単 22号
Y00004	雑品	0.100		123,624	12,362	
	合 計				135,986	算出数量 1.000 門
	単 価		門		135,986	
	*** T単－ 7号 ***					
T00008	扉体取外し・復旧		門		1.000	歩A 当たり算出
	転倒ゲート					
S41001	〔施設機械労務単価〕 、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、据 付 工	16.000	人	30,906	494,496	S単 22号
S02115	潜水士	3.000	人	45,900	137,700	S単 1号
Y00004	雑品	0.100		632,196	63,220	
	合 計				695,416	算出数量 1.000 門
	単 価		門		695,416	
	*** T単－ 8号 ***					
T00009	転倒ゲート水密ゴム交換		門		1.000	歩A 当たり算出
S41001	〔施設機械労務単価〕 、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、製 作 工	4.000	人	31,200	124,800	S単 21号
	合 計				124,800	算出数量 1.000 門
	単 価		門		124,800	
	*** T単－ 9号 ***					
T00010	転倒ゲート扉体加工		門		1.000	歩A 当たり算出
S41001	〔施設機械労務単価〕 、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、製 作 工	5.000	人	31,200	156,000	S単 21号
Y00004	雑品	0.100		156,000	15,600	
	合 計				171,600	算出数量 1.000 門
	単 価		門		171,600	
	*** T単－ 10号 ***					
T00012	転倒ゲート吊金具整備		門		1.000	歩A 当たり算出
S41001	〔施設機械労務単価〕 、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、据 付 工	2.000	人	30,906	61,812	S単 22号
Y00004	雑品	0.100		61,812	6,181	
	合 計				67,993	算出数量 1.000 門
	単 価		門		67,993	
	*** T単－ 11号 ***					
T00013	開閉装置現場整備（タイプV）制水門2門		箇所		1.000	歩A 当たり算出
	ローラゲート（エンジンラック式）					
S41001	〔施設機械労務単価〕 、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、据 付 工	12.000	人	30,906	370,872	S単 22号
S41001	〔施設機械労務単価〕 、水門、ダム水門、除塵機、鋼製付属設備、普通作業員	3.000	人	23,562	70,686	S単 23号
	合 計				441,558	算出数量 1.000 箇所

令和6年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
排水路設備（大溝線他）改修工事

特 別 仕 様 書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

令和6年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備（大溝線他）改修工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等共通仕様書」（以下「共通仕様書（施）」という。）に基づいて実施する。

同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、国営筑後川下流福岡土地改良事業計画に基づき、大溝線のゲート設備の改修を行うものである。

2. 工事場所

福岡県大川市地内

3. 工事概要

（1）大溝線2号制水門ゲート設備（施設管理名称：1号制水門）

1) ローラゲート設備

1式

①型 式

鋼製ローラゲート（エンジンラック式）

②寸 法

純径間 5.00m×扉高 2.25m

③数 量

2門

④改修内容

開閉装置整備、ラック棒・吊り金具交換、水密ゴム交換、ローラ整備、扉体塗装

2) 転倒ゲート設備

1式

①型 式

ワイヤロープウインチ式

②寸 法

純径間 4.60m×扉高 1.00m

③数 量

2門

④改修内容

開閉装置整備、ワイヤロープ・吊り金具整備、水密ゴム交換、扉体塗装

4. 工事数量

別紙「整備箇所一覧」及び「工事数量表」のほか、第9章設計、第10章構造及び製作に示すとおりである。なお、工事数量表備考欄に「精」と示した数量については、概略（概算）数量であるため、施工実績に基づき設計変更の対象とする。

5. 施工範囲

本工事の施工範囲は、第2章3. 工事概要に示す設備の点検・整備、製作、塗装、輸送、据付及び調整までの一切とする。

6. 精査積算方式

本工事は、受注者において施工のために必要な仮設工に係る設計と工事施工を一括して実施する精査積算方式の試行工事である。

精査積算方式とは、主要構造物の構造・形式や諸元等を確定した上で、不可視部分の施工に関する仮設工において、契約締結後に必要な仮設工に係る設計等を工事と一括して精査し、契約変更の対象とする方式をいう。

第3章 施工条件

1. 工程制限

制水門の現場整備（開閉操作等）は、令和7年11月1日から着手可能である。

2. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日は次のとおりとする。

- (1) 工場製作の工事期間には、休日等4週8休を見込んでいる。
- (2) 現場整備の工事期間には雨天、休日等41日を見込んでいる。
(なお、休日等は土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇である。)

3. 施工しない日

原則、土曜日及び日曜日、年末年始休暇（12月29日～1月3日）。

ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施に取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない日においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

4. 施工しない時間帯

原則、平日の午後6時から午前8時まで。

なお、冬期間の気象条件等により上記の施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

5. 設計期間

仮設工の設計に要する日数は必要に応じて、設計変更の対象とする。

6. 現場技術員

本工事は、共通仕様書（施）第1章1-1-12に規定している現場技術員を配置する。氏名等については、別に通知する。

第4章 現場条件

1. 搬入路

現場への搬入路は、4t車の進入が可能である。

2. 第三者に対する措置

(1) 騒音、振動対策

騒音、振動等の対策については十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。

(2) 保安対策

1) 本工事に配置する交通誘導警備員は、原則として警備業法に定める警備員（指導教育責任講習修了、指定講習または、基本教育及び業務別教育を受けた者）であって、交通誘導警備員の専門的な知識・技能を有する者とする。

2) 交通誘導警備員の配置は、下表のとおりとするが、条件変更に伴い員数に増減が生じた場合は監督職員と協議するものとする。

配置場所	交通誘導警備員	編成	昼夜別	交代要員の有無	配置時期
大溝線2号制水門	2名/日	1班	昼間	無	扉体取外し取付及び据付施工時

(3) 安全対策

工事期間中における昼夜の安全対策については、交通制限の範囲、標識及び安全施設等の配置

について事前に監督職員の承諾を得るものとする。

(4) 交通対策

- 1) 交通規制の実施に際しては、道路利用者及び周辺住民に十分な周知を図らなければならない。
- 2) 一般道からの進入に当たっては、一般車両の通行に支障がないよう進入しなければならない。
- 3) 民家近くの通行に際しては、騒音、振動に注意し通行するものとする。

(5) 営農対策

工事施工に当たっては、周辺の農地では耕作が行われているので、営農に支障がないように努めなければならない。

(6) その他

既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。

第5章 提出図書等

1. 承諾図書

共通仕様書(施)第1章 1-1-7 に示す実施仕様書・計算書及び詳細図の提出は工事の始期から30日以内に提出するものとする。

また、承諾・不承諾は提出があった日から10日以内に文書で通知するものとする。

2. 施工図

受注者は、施工図が第三者の有する著作権を侵害し、発注者が著作権法に従い第三者に損害の回復等の処置を講じなければならないときは、発注者にかわり、その損害を負担し、又は回復等の処置を講ずるものとする。

第6章 仮 設

1. 工事用電力

工事に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とする。

第7章 貸与する資料等

1. 貸与する資料等

本工事の施工において、関連する次の資料を貸与する。

- (1) 資料名 令和6年度 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水水門他改修実施設計業務
令和3年度 筑後川下流福岡地区施設整備計画検討その他業務
- (2) 貸与期間 工事契約から工事完成まで
- (3) 返納場所 筑後川下流福岡農業水利事業建設所
- (4) 貸与条件 貸与資料の内容については、発注者の許可なく他に公表してはならない。
- (5) その他 発注者が返却を指示した場合は速やかに返却するものとする。

第8章 試運転調整

本工事で実施する試運転調整に要する電力料金（基本料金・使用料金）又は、燃料費については発注者において負担する。

なお、試運転調整の実施に当たっては、事前に詳細な実施計画書を作成し、監督職員に提出して承諾を得るものとする。

第9章 設 計

1. 一般事項

- (1) 受注者は、本章に示す設計条件等に基づき設計図書及び第7章第1項の貸与する資料等につい

- て照査し、設備の製造設計を行うものとする。
- (2) 土地改良事業計画設計基準、関係する諸基準及び規格を遵守し、設計条件及び設置条件に対して十分な強度、性能及び機能を有するものとする。
- (3) 耐久性及び安全性並びに維持管理を考慮した構造とする。
- (4) 運転が確実に操作の容易なものとする。
- (5) 設計、製作、据付に当たって特許等を使用する場合はその詳細を明記するものとする。
- (6) 設計諸元を変更しない単純更新などは、詳細設計を受注者が行う設計施工一括発注方式を適用する。

2. 詳細設計の範囲

受注者は、設計図書に記載されている基本設計条件に基づき細部の設計を実施するものとし、詳細設計を行う項目及び範囲と設計変更する工事内容は次のとおりである。

詳細設計項目	詳細設計の範囲	設計変更する工事内容
現場整備における点検結果による整備設計を行う。	開閉装置、扉体	点検結果により部品等の交換があった場合の施工費

3. 設計諸元

本ゲート設備計画は、次の条件により設計するものとする。

仕様項目	大溝線 2 号制水門（施設管理名称：1 号制水門）	
形 式	鋼製ローラゲート	転倒ゲート
純 径 間	5.00 m	4.60 m
有 効 高	2.25 m	1.00 m
門 数	2 門	2 門
水 密 方 式	四方ゴム水密	三方ゴム水密
開 閉 装 置	エンジンラック式	ワイヤロープウインチ式
駆 動 方 式	エンジン及び手動	手動
揚 程	3.80 m	—
許 容 応 力 等	鋼構造物計画技術指針（水門扉編）による。	鋼構造物計画技術指針（水門扉編）による。

4. 材料

- (1) 主要材料は、JIS 規格品、又は同等品以上とする。
- (2) 構造計算の結果、決定する使用材料は、製鉄所のミルシート又は引張試験成績書等を提出し、監督職員の承諾を受けるものとする。

材 料 名	規 格	適 用
合成ゴム		水密ゴム

第 10 章 構造及び製作

1. 一般事項

- (1) 本設備の製作に必要な機器及び材料は、共通仕様書（施）第 2 章「機器及び材料」及び第 4 章「水門設備」によるものとする。
- (2) 本設備の製作は、共通仕様書（施）第 3 章「共通施工」及び第 4 章「水門設備」によるものとする。
- (3) 本設備は、共通仕様書（施）第 4 章「水門設備」によるものとするが、受注者の新技術及び新製品等があれば提案を行うことが可能である。
- (4) 水門設備は運転開始から長期の運転に耐えうる設計を行うこと。

第11章 塗装

1. 一般事項

- (1) 外注品の塗装仕様については、メーカー標準塗装とし、塗装色は10B5/2（大川市）とする。なお、開閉装置は、補修塗装（浮きサビ除去後にタッチアップ）とする。
- (2) 塗装は各部の塗装仕様により施工するものとし、搬入据付等により塗膜の損傷が生じた場合は正規の塗装と同等以上の補修を行い仕上げるものとする。
- (3) 既存塗膜の剥離作業（塗膜除去）については、以下、塗装履歴を示すとともに塗膜分析試験を行い鉛等有害物の含有状況を確認するものとする。
 - ・ゼッタール EP-2（一次プライマー・下塗り1層） JIS K5552（2種）
 - ・ラバータイト#100（下塗り2,3層・中塗り・上塗り） JIS K5639
- (4) 塗膜分析試験による成分調査結果から健康障害防止措置が必要となった場合は、対策について、監督職員と協議するものとする。

2. 施工方法

- (1) 制水門の素地調整は、湿式剥離工法とし環境対応型塗膜剥離剤（水系非危険物）を用いて1種ケレン相当を行う。また、塗膜中の有害物の有無にかかわらず、粉じん・塗膜落下防止対策を行うものとする。
- (2) 塗装作業は、鋼材表面の素地調整を十分行った後に実施し、1次プライマー及び各層の塗り重ねは塗装系に応じた間隔を守り、各層ごとに色分けを行い施工するものとする。
- (3) 現場溶接部及び工場での塗り残し部の塗装は、現場補修等を行い、塗装を仕上げるものとする。

3. 塗装仕様

塗装仕様は次のとおりとする。

- (1) 扉体（①ローラゲート設備、②転倒ゲート）：大溝線2号制水門（施設管理名称：1号制水門）

施工場所	工程	塗料名	標準膜厚	塗色	塗装方法
①現場 ②工場	素地調整	塗装剥離剤（1種ケレン相当）			
	第1層	厚膜形エポキシジンクリッチペイント	75 μ m	最終層 10B5/2	エアレス スプレー
	第2層	エポキシ樹脂塗料（下塗）	100 μ m		
	第3層	エポキシ樹脂塗料（下塗）	100 μ m		
	第4層	エポキシ樹脂塗料（中塗）	40 μ m		
	第5層	エポキシ樹脂塗料（上塗）	40 μ m		

塗色：10B5/2（大川市）

第12章 更新・整備内容

更新・整備内容については次表のとおりとする。

なお、受注者は作業着手前に更新・整備方法及び具体的な工程計画について、監督職員に作業計画書を提出し、承諾を得るものとする。

また、受注者は設計変更が生じ、契約変更に必要な測量・設計図書の作成を監督職員から指示された場合は、それに応ずるものとする。なお、その経費については別途協議するものとする。

1. 更新・整備内容

- (1) ローラゲート設備（現場整備）

No.	作業項目	作業内容
1	ラック棒・吊金具の交換	・現場でラック棒・吊金具の状態確認を行う。 ・扉体からラック棒・吊金具の取外し取付を行う。

No.	作業項目	作業内容
2	既設扉体の取外し	<ul style="list-style-type: none"> ・扉体の取外しに当たり、必要な養生、準備を行う。 ・チェンブロック等を用いて、取外し戸当たりを取外した後、扉体の取外しを行う。 ・取外しを行った扉体については、躯体の水路上流側に吊下げ、作業台と固定した状態で現場整備を行う。 ・取外し戸当りについては、再利用するため、損傷を与えないよう丁寧かつ慎重に保管養生を行う。
3	扉体の現場整備	<ul style="list-style-type: none"> ・扉体塗装及び主ローラ、サイドローラの整備を行う。 ・現場で水密ゴム交換作業を行う。
4	据付	<ul style="list-style-type: none"> ・整備を行った扉体の復旧を行う。 ・扉体を据え付けた後、取外し戸当りを取り付ける。

(2) 転倒ゲート設備（工場整備）

No.	作業項目	作業内容
1	既設扉体の取外し及び運搬	<ul style="list-style-type: none"> ・扉体の取外しに当たり、必要な養生、準備を行う。 ・クレーン等を用いて、扉体の取外しを行う。 ・取外しを行った扉体については、工場に運搬する。
2	扉体の工場整備	<ul style="list-style-type: none"> ・吊り金具の整備及び扉体塗装、水密ゴム交換、扉体加工を行う。 ※扉体加工は、再設置時の取付を水路上流側から可能にするもの。 ・整備後、必要な養生を行い、現場へ運搬する。
3	据付	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン等を用いて、整備を行った扉体の復旧を行う。

(3) 開閉装置設備（現場整備）

No.	作業項目	作業内容
1	開閉装置の点検・調整・補修塗装 【ローラゲート、転倒ゲート共通】	<ul style="list-style-type: none"> ・開閉装置の機能保持及び機能回復のために点検・調整、オイル交換、点検口を取外しての内部確認、補修塗装（浮きサビ除去後にタッチアップ塗装）、清掃、整備後の扉体と組合せ動作確認を行う。 ・オーバーホールが必要な修理については、現地での分解組立とする。 ・分解を行い部材、部品、機器単体品等の交換が必要となった場合及び、構成する主要な機器の整備を工場で実施しなければならない場合は、監督職員と協議する。 ・整備に当たっては、事前に油脂類を抜き取る等、慎重に作業を行い、水路等の環境汚染を引き起こさないよう留意する。

2. 機械設備

- (1) 設備の取り外しや据付に重機械を使用する場合は、既設構造物に損傷を与えないように留意するものとする。
- (2) 扉体の据付にあたっては、損傷を与えないように、かつ機能を十分に発揮するように正確に据付なければならない。

3. 建設資材廃棄物等の搬出

本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等を本現場内で利用することが困難な場合は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

建設資材廃棄物	処理施設名	住 所	受入時間	事業区分
水密ゴム	(有)ショウエイ環境	久留米市三潞町大字西 牟田字鳥越 6345-3	8 時～ 17 時	中間処分業者

4. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

第 13 章 試験及び検査

1. 検測又は確認（施工段階確認）

- (1) 本工事の施工段階確認、下表に示すとおりである。ただし、確認時期については、監督職員へ指示により変更する場合がある。

1) 施設機械等工事

工種	確認内容		確認時期	遠隔確認	備考
河川・水路用水門設備	出来形確認	施設機械工事等施工管理基準第 2 編第 1 章第 1 節「直接測定による出来形管理」による。	施設機械工事等施工管理基準第 1 編第 1 章第 1 節総則による。 ・機器・部品確認：整備時	—	
	品質確認	施設機械工事等施工管理基準第 2 編第 1 章第 2 節「品質管理」による。	・性能確認：完了時 ・塗装確認：完了時 ・試運転調整確認：完了時	—	

- (2) (1) の 1) の表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。

- (3) 工場で行う施工段階確認は、日本国内の工場で行うものとする。

第 14 章 施工管理等

1. 主任技術者等の資格

主任技術者等の資格は、入札説明書による。

2. 施工管理

施工管理は、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等施工管理基準」及び共通仕様書（施）による。

なお、これらに定められていない事項については、受注者の基準によるが、この場合はあらかじめ監督職員の承諾を得るものとする。

3. 工事写真における黒板情報の電子化

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「施設機械工事等施工管理基準 第１編 共通編 第２章撮影記録による施工管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

１）黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

２）受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

１）受注者は、（１）の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

２）本工事の工事写真の取扱いは、「施設機械工事等施工管理基準 第１編 共通編 第２章 撮影記録による施工管理」及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記１）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）

６ 写真編集等」に示す写真編集」には該当しないものとする。

３）黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL（https://dcpadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

4. 工事現場等における遠隔確認について

（１）本工事は、施工段階確認、材料検査、立会等による確認を受注者が動画撮影用カメラにより撮影した映像と音声を監督職員等に同時配信し、双方向通信により会話をしながら監督職員等がモニター上で工事現場等の確認（以下「遠隔確認」という）を行う工事である。

（２）遠隔確認の活用は、別添の「工事現場等における遠隔確認に関する実施要領」によるものとする。

（３）農林水産省が推奨するWeb会議システムは、Microsoft Teamsである。

（４）通信環境が整わない現場や遠隔確認が非効率となる場合も想定されることから、受発注者の協議により遠隔確認の適用・不適用を決定するものとする。

第15章 条件変更の補足説明

本工事の施工にあたり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書と異なる場合、あるいは設計図書に示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は次のとおりである。

- 1) 設計諸元等の条件変更に係るもの
- 2) 関連工事との調整に係るもの
- 3) 不可抗力によるもの
- 4) 法・基準の改正に係るもの
- 5) その他本仕様書に定めないもの

第16章 その他

1. 電子納品

工事完成図書を共通仕様書（施）第1章 1-1-27 及び第1章 1-1-29 に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成図書の電子媒体（CD-R・DVD-R 又は BD-R） 正副2部

2. 配置予定監理技術者等の専任期間

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、現場に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。

また、現場への専任期間については、契約工期が基本となるが、契約工期内であっても、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

さらに、工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間については、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の監理技術者等がこれらの製作を一括管理することができる。

3. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者の確保などが図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、様式1により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている183日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに様式1と併せて、休日を確保していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書及び工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結日の日から令和8年3月10日（工事完了期限日）まで

※工事完了期限内における工期の変更については、受注者から変更理由が記載された書面での協議を行うこと。

4. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

5. 契約後 VE 提案

(1) 定 義

「VE 提案」とは、工事請負契約書第 19 条の 2 の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) VE 提案の意義及び範囲

- 1) VE 提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。
- 2) ただし、次の提案は、VE 提案の範囲に含めないものとする。
 - ①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
 - ②工事請負契約書第 18 条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の提案
 - ③競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) VE 提案書の提出

- 1) 受注者は、(2)の VE 提案を行う場合、次に掲げる事項を VE 提案書（共通仕様書（施）工事関係書類様式（様式－6）の様式 1～様式 4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - ①設計図書に定める内容と VE 提案の内容の対比及び提案理由
 - ②VE 提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - ③VE 提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - ④発注者が別途発注する関連工事との関係
 - ⑤工業所有権を含む VE 提案である場合、その取扱いに関する事項
 - ⑥その他 VE 提案が採用された場合に留意すべき事項
- 2) 発注者は、提出された VE 提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- 3) 受注者は、VE 提案を契約締結の日より、当該 VE 提案に係る部分の施工に着手する日の 35 日前までに、発注者に提出できるものとする。
- 4) VE 提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) VE 提案の適否等

- 1) 発注者は、VE 提案の採否について、原則として、VE 提案を受領した日の翌日から 14 日以内に書面（共通仕様書（施）工事関係書類様式（様式－6）の様式 5）により通知するものとする。

ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができるものとする。
- 2) また、VE 提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。
- 3) VE 提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価する。
- 4) 発注者は、VE 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 19 条の 2（設計図書の変更に係る受注者の提案）の規定に基づくものとする。
- 5) 発注者は、VE 提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第 25 条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
- 6) 前項の変更を行う場合においては、VE 提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の 10 分の 5 に相当する額（以下「VE 管理費」という。）を削減しないものとする。
- 7) VE 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者が VE 提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
- 8) 発注者は、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第 25 条（請負代金額の変更方法等）第 1 項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。VE 提案を採用した後、工事請負契約書第 18 条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記 6) の VE 管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰することができない理由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定め

るものとする。

(5) VE 提案書の使用

発注者は、VE 提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容が無償で使用する権利を有するものとする。

(6) 責任の所在

発注者が VE 提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE 提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこととする。

6. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」（農水省 WEB サイト）を十分に理解の上、対応するものとする。

(1) 工事円滑化会議（施工条件確認会議）

工事契約後に、円滑な工事着手が図れるよう事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）及び監督員が、現場代理人、受注会社幹部に設計の考え方等を説明し、共有を図るものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(2) 工事円滑化会議（工程確認会議）

工事着手時および新工種発生時等において、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が、施工計画、工事工程等について、確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(3) 設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続や工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が工期、設計変更内容、技術提案の履行状況等について、高いレベルで確認する設計変更確認会議を開催するものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員と協議し定めるものとする。

(4) 対策検討会議

工事実施中において、自然的又は人為的な要因等により、工事の工期、設計及び施工等に大きな影響をもたらす重大な事象が発生した際に、調査設計段階の検討内容を含めた技術課題等の迅速な解決に向けて、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長（議長）、次長、総括監督員、主任監督員、監督員が対応方針の協議・確認を行う対策検討会議を開催することができるものとする。

なお、対策検討会議は、現場代理人又は監督職員が工事円滑化会議等において協議の上開催する。

(5) 建設コンサルタントの出席

上記（１）、（２）、（３）及び（４）の会議に必要なに応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。

なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費の中の通信交通費に含まれるものと考えており、開催回数に関らず変更契約の対象としない。

(6) 工事円滑化会議、設計変更確認会議及び対策検討会議において確認した事項については、打合せ記録簿（共通仕様書（施）工事関係書類様式（様式-42））に記録し、相互に確認するものとする。

7. 工事付属品

本工事で製作据付した設備の維持管理及び運転操作に必要な書類等は、工事付属品として監督職員の指示する場所に備え付けなければならない。

8. 現場環境の改善の試行

本工事は、誰でも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契

約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

(1) 内容

受注者は、現場に以下のア～サの仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

ただし、シ～チについては、満たしていればより快適に使用できるものと思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- ア 洋式（洋風）便器
- イ 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- ウ 臭い逆流防止機能
- エ 容易に開かない施錠機能
- オ 照明設備
- カ 衣類掛け等のフック又は荷物の置ける棚等（耐荷重を 5kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- キ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ク 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ケ サニタリーボックス
- コ 鏡と手洗器
- サ 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- シ 便房内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）
- ス 擬音装置（機能を含む）
- セ 着替え台
- ソ 臭気対策機能の多重化
- タ 室内温度の調整が可能な設備
- チ 小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

(2) 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記（１）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】ア～カ及び【付属品として備えるもの】キ～チの費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円／基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基／工事（施工箇所）までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基／工事（施工箇所）より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。

(3) 快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本項の対象外とする。

9. 週休 2 日による施工

- (1) 本工事は、月単位の週休 2 日に取り組むことを前提として、労務費、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正した試行対象工事である。受注者は、契約後、週単位又は月単位の週休 2 日の取組について工事着手前に選択し、選択結果について発注者と協議した上、週休 2 日による施工を行わなければならない。

なお、受注者の責によらない現場条件、気象条件等により週休 2 日の確保が難しいことが想定される場合には監督職員と協議するものとする。

- (2) 週単位の週休 2 日とは、対象期間のすべての週において、1 週間に 2 日間以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。なお、受注者自ら 2 日以上現場閉所を行うことは可能とする。月単位の週休 2 日とは、対象期間において、すべての月で 4 週 8 休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

なお、ここでのいう対象期間、現場閉所の具体的な内容は次のとおりである。

- ① 対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、

年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として12月29日から1月3日までの6日間、8月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、余裕期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

- ② 現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。
- ③ 降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- (3) 週休2日（4週8休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - ① 受注者は、契約後、週単位又は月単位の週休2日の取組について工事着手前に選択し、週休2日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。
 - ② 受注者は、週休2日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、週休2日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育、訓練等の記録資料等により行うものとする。
 - ③ 監督職員は、上記受注者からの報告により週休2日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。
 - ④ 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記②の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。
 - ⑤ 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。
- (4) 監督職員が週休2日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (5) 発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正する。

① 補正係数

	週単位の週休2日	月単位の週休2日
	〔 現場閉所1週間に2日以上 〕	〔 現場閉所率 28.5%(8日/28日)以上 〕
労務費	1.02	1.02
共通仮設費（率分）	1.05	1.04
現場管理費（率分）	1.06	1.05

② 補正方法

当初積算において月単位の週休2日の達成を前提とした補正係数を各経費に乗じている。また、発注者は、工事完成時に現場閉所の達成状況を確認後、達成状況に応じて、工事請負契約書第25条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき精算変更を行う。週単位の週休2日を達成した場合は、上記①に示す週単位の補正係数による補正を行い増額変更し、月単位の週休2日を達成できない場合は、補正を行わずに減額変更する。

また、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、契約違反として「地方農政局工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成15年2月19日付け14地第759号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）別紙8（事業（務）所長用）に示す「7. 法令遵守等」において、点数10点を減ずるものとする。

10. 週休2日制の促進

- (1) 本工事は、週休2日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。

11. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である。
- (2) 用語の具体的な内容は次のとおりである。

ア 真夏日

日最高気温が 30℃以上の日をいう。

イ 工期

準備・後片付け期間を含めた工期をいう。なお、年末年始休暇分として 12 月 29 日から 1 月 3 日までの 6 日間、8 月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

ウ 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

真夏日率	=	工期期間中の真夏日	÷	工期
------	---	-----------	---	----

- (3) 受注者は、工事着手前に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載した施工計画書を作成し、監督職員へ提出する。
- (4) 気温の計測方法については、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。
- なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが 25℃以上となる日を真夏日と見なす。
- ただし、これによりがたい場合は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所以外の気象観測所で気象業務法(昭和 27 年法律第 165 号)に基づいた気象観測方法により得られた計測結果を用いることも可とする。
- (5) 受注者は、監督職員へ計測結果の資料を提出する。
- (6) 発注者は、受注者から提出された計測結果の資料を基に工期中の日最高気温から真夏日率を算定した上で補正値を算出し、現場管理費率に加算し設計変更を行うものとする。

補正値 (%)	=	真夏日率 × 補正係数※
---------	---	--------------

※ 補正係数 : 1.2

12. 総価契約単価合意方式(包括的単価個別合意方式)について

- (1) 本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式(包括的単価個別合意方式)の対象工事である。
- (2) 受発注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

第 17 章 定めなき事項

- (1) 契約書、設計図面及び本仕様書に示されていない事項であっても構造、機能上又は製作据付上当然必要と認められる軽微な事項については受注者の負担で処理するものとする。
- (2) この仕様書に定めない事項又はこの工事の施工にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 期 通 知 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

分任支出負担行為担当官

〇〇 〇〇 様

住所

商号又は名称

氏名

印

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	〇〇〇〇工事
工 事 場 所	〇〇県〇〇市〇〇
契約予定年月日	令和 年 月 日
工 事 の 始 期	令和 年 月 日
工 期	工 事 の 始 期 から (〇〇〇日間) 令和 年 月 日 まで

※契約の締結までに提出すること。
※契約書には本通知書により通知した工期（工事の始期及び終期）を記載する。

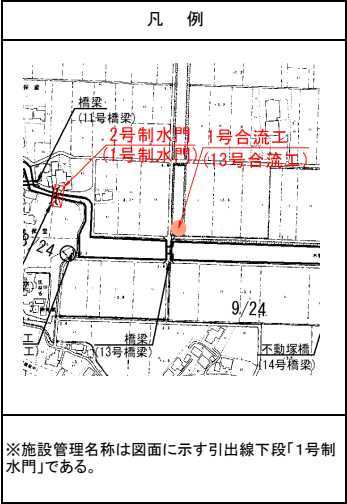
(別紙) 整備箇所一覧(制水門)

番号	区分	施設管理名称			扉体		開閉装置			タイプ	地区
					規格	形式	形式				
		路線	名称	門数			B × H		型式		
1	制水門	大溝線	1号制水門 (2号)	2	5.0 × 2.3	単扉	エンジンラック式	HPW800	豊国工業	V	大溝線
				2	4.6 × 1.0	転倒ゲート	ワイアロープウインチ式	LRH-3DT	西部電機		

整備区分(整備内容)

タイプ	名称	箇所数	
V	単扉＋転倒ゲート(2門タイプ)	1	箇所
計		1	箇所

地区別	箇所数	
大溝線	1	箇所



工事現場等における遠隔確認に関する実施要領

1 総則

1-1 目的

本実施要領は、国営土地改良事業等の工事現場等における監督職員等の施工段階確認、材料検査、立会等（以下「立会等」という。）について、受注者が動画撮影用カメラで撮影した映像と音声を Web 会議システムにより監督職員等に配信し、双方向通信により会話をしながら監督職員等がモニターで工事現場等の確認を行うもの（以下「遠隔確認」という。）であり、この情報通信技術を活用して、受発注者の業務効率化を図ることにより、働き方改革の促進と生産性向上を実現することを目的とするものである。

1-2 対象工事

原則、全ての工事を対象とする。

ただし、通信環境が整わない現場や工種によって不十分、非効率になることが明確な場合は、この限りではない。

1-3 適用

本実施要領は、土木工事共通仕様書及び施設機械工事等共通仕様書で定義する立会等の遠隔確認に適用し、監督職員等が確認するのに十分な情報を得ることができる場合に通常の立会等に代えることができる。

なお、動画撮影用カメラの活用は、立会等だけではなく設計図書と施工現場条件の不一致の確認、工事事故時の早期報告及び受注者の創意工夫等の報告など受発注者双方が積極的にその機能を活用する行為を妨げるものではない。

2 機器構成と仕様

遠隔確認に使用する動画撮影用カメラは受注者が準備するものとし、Web 会議システムは農林水産省が推奨するシステム（以下「推奨システム」という。）を使用する。なお、受注者は動画撮影用カメラに推奨システムをインストールし運用するものとする。

ただし、動画撮影用カメラを発注者側で準備している場合や推奨システムが現場確認に適さない場合は、受発注者間の協議により使用する機器を定めるものとする。

3 遠隔確認の実施

3-1 施工計画書の提出

遠隔確認の実施に当たっては、受注者は次の事項を施工計画書に記載して監督職員の確認を受けなければならない。

（1）適用種別

本実施要領を適用する立会等の項目を記載する。

（2）機器仕様

本実施要領に基づき使用する動画撮影用カメラの機器と仕様を記載する。

本実施要領を適用する立会等の実施時期・場所等を記載する。

(3) 実施時期・場所等

本実施要領を適用する立会等の実施時期・場所等を記載する。

3-2 事前準備

受注者は遠隔確認に先立ち、監督職員に工種、確認内容、確認希望日時等を記入した立会願を提出しなければならない。

なお、立会等の時間は、発注者の勤務時間内とする。ただし、監督職員がやむを得ない理由があると認めた場合はこの限りではない。

3-3 遠隔確認の実施

(1) 資機材の確認

受注者は、事前に監督職員等と使用する動画撮影用カメラ等の通信状況について確認を行わなければならない。

(2) 確認箇所の把握

受注者は、監督職員等が遠隔確認箇所の位置を把握するために映像により確認箇所周辺の状況を伝えなければならない。

(3) 確認の実施

受注者は、「工事名」、「工種」、「確認内容」、「設計値」、「測定値」などの必要な情報について適宜電子黒板等を用いて表示する。

なお、受注者は必要な情報を冒頭で読み上げ、監督職員等から実施項目の確認を得ること。確認終了時には、確認箇所の内容を読み上げ、監督職員等による結果の確認を得ること。

(4) 結果の報告

受注者は、監督職員から遠隔確認による施工段階確認を受けた場合、施工段階確認簿をその都度作成して速やかに監督職員へ提出する。

4 遠隔確認の記録と保存

受注者は、遠隔確認の映像と音声を配信するのみであり、記録と保存を行う必要はない。

ただし、現場技術員が遠隔確認を行った結果は、使用するパソコンにて遠隔確認の映像（実施状況）を画面キャプチャ（パソコンの画面表示を静止画像として保存）等で記録し、情報共有システム（ASP）等を活用して監督職員に提出する。

5 留意事項

遠隔確認の活用にあたっては、以下に留意すること。

(1) 受注者は、被撮影者である当該工事現場の作業員に対して撮影の目的や用途等を説明して承諾を得ること。

(2) 長時間動画用撮影カメラで撮影する場合、作業員のプライバシーを侵害する音声情報が含まれる可能性があるため留意すること。

(3) 受注者は、施工現場外が可能な限り映り込まないように留意すること。

(4) 受注者は、原則映像を記録する必要はないが、公的でない建物の内部や人物が意図せず映り込んでしまった場合は、記録映像から人物等を特定できないように必要な措置を行うこと。

(5) 動画撮影用カメラの使用は意識が対象物に集中し、足下への注意が薄れたり、カメラの保持・操作のために両手が塞がることにより、転倒等の事故につながる場合がある。そのため撮影しながら移動する場合は進行方向の段差・障害物の有無を確認するなど、安全

対策に留意すること。

(6) 電波状況等により遠隔確認が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

(7) 本実施要領によりがたい場合は適宜受発注者間で協議すること。

6 工事現場における掲示の記載

受注者は、下記の記載例を基に作成した掲示板を工事現場に設置して周辺住民の理解に努めなければならない。

記 載 例
当現場は、遠隔確認活用実施工事であり、動画撮影用カメラによる撮影を行っています。
問合せ先：〇〇工事責任者 現場代理人氏名、連絡先

7 フォローアップ調査

本実施要領に基づき実施した工事の受発注者を対象として、課題抽出やより効率的な取組を行うためのフォローアップ調査の依頼があった場合は対応することとする。

8 積算

(1) 積算方法

遠隔確認に使用する機器等は原則リースとし、その費用は工事实施に必要な施工管理費用（技術管理費）として見積徴収して全て計上する。

計上に当たっては、現場管理費率や一般管理費率による計算の対象外とするため「一括計上価格」とする。

やむを得ず機器等の購入が必要な場合はその購入費に対して機器等の耐用年数に使用期間割合を乗じた金額を計上する。また、受注者が所有する機器等を使用する場合も同様とする。

なお、発注者が所有する機器等を使用する場合は受発注者間で費用を協議することとし、追加で必要となる費用を計上する。

(2) 機器等の耐用年数

代表的な機器等の耐用年数については表－１のとおりであるが、これによりがたい場合は受発注者間で協議して決定する。

表－１ 代表的な機器の耐用年数

機器等の名称	耐用年数
カメラ、ネットワークオペレーティングシステム、アプリケーションソフト	５年
ハブ、ルーター、リピーター、LAN ボード	１０年

※ 国税庁ホームページ公表資料から引用

令和 6 年度

筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
排水路設備（大溝線他）改修工事

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
直接製作費				
1. 水門扉製作工	大溝線			
(1) 扉体工	大溝線 1 号制水門（ローラゲート 2 門）			
1) 扉体工（材料費）－水門扉－		式	1.000	
水密ゴム 合成ゴム	P 形（クロロプレン系）	kg	28.000	
水密ゴム 合成ゴム	平形（クロロプレン系）	kg	20.000	
ステンレスボルト・ナット	SUS304	kg	24.000	
2) 扉体工（吊金具（門柱））		式	1.000	
一般構造用圧延鋼板（厚板）	SS400 厚さ12mm～25mm 1500≦W≦2000, 鋼板、ステン スラット 鋼板, ヘビー-H 1, 12	kg	135.000	
一般構造用圧延棒鋼	SS400 径9mm～11mm, 棒鋼, 鋼ダライ粉 A, 20	kg	2.000	
オールアンカー	SUS304 M16	本	48.000	
(2) 開閉装置工				
1) 開閉装置（機器単体費・ラック式）		式	1.000	
ラック棒 SUS304	単動40kN用 連動75kN－ 80kN用	m	22.480	
ラック継手・吊りピン SCS13	単動40kN用 連動75kN－ 80kN用	個	4.000	
2. 小形水門扉製作工	大溝線			
(1) 扉体工	大溝線 1 号制水門（転倒ゲート 2 門）			
1) 扉体工（材料費）－小形水門－		式	1.000	
水密ゴム 合成ゴム	L 形（クロロプレン系）	kg	7.000	
ステンレスボルト・ナット	SUS304	kg	12.000	
2) 扉体（労務費）	転倒ゲート水密ゴム交換	門	2.000	
3) 扉体（労務費）	転倒ゲート扉体加工	門	2.000	
4) 扉体（塗装費）	大溝線 1 号制水門（転倒ゲート）	門	2.000	
素地調整費（水門【積上】，鋼製付属）工場	1 種（製品），プライマーなし	m ²	18.100	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
塗装費(水門設備)工場【積上】	厚膜エポキシ樹脂系, 淡彩色	m ²	18.100	
直接工事費				
1. 輸送費				
(1)輸送費				
1)輸送費(河川用水門)		式	1.000	
輸送費(修繕工事)現場～工場	河川・水路用水門設備, 1.755ton, 2.2km	式	1.000	
輸送費(修繕工事)工場から現場	河川・水路用水門設備, 1.755ton, 2.2km	式	1.000	
輸送費(修繕工事)	鋼製付属設備, 0.137ton, 2.2km	式	1.000	
2. 水門扉据付工				
(1)大溝線1号制水門	ローラゲート			
1)扉体(塗装費)	大溝線1号制水門(ローラゲート)	門	2.000	
塗装剥離剤	,, 環境対応型塗膜剥離剤(水系非危険物)	kg	69.015	
塗装費【積上】		m ²	64.500	
2)開閉装置整備		式	1.000	
3)ラック棒・吊金具交換		門	2.000	
4)直接経費(据付)	ラック棒・吊り金具交換	式	1.000	
5)扉体取外し・復旧	ローラゲート	門	2.000	
6)直接経費(据付)	扉体取外し・復旧	式	1.000	
7)ローラゲート水密ゴム交換		門	2.000	
8)主ローラ整備		門	2.000	
9)サイドローラ整備		門	2.000	
(2)大溝線1号制水門	転倒ゲート			
1)扉体取外し・復旧	転倒ゲート	門	2.000	
2)直接経費(据付)	扉体取外し・復旧	式	1.000	

工 事 数 量 表

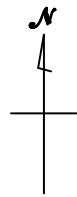
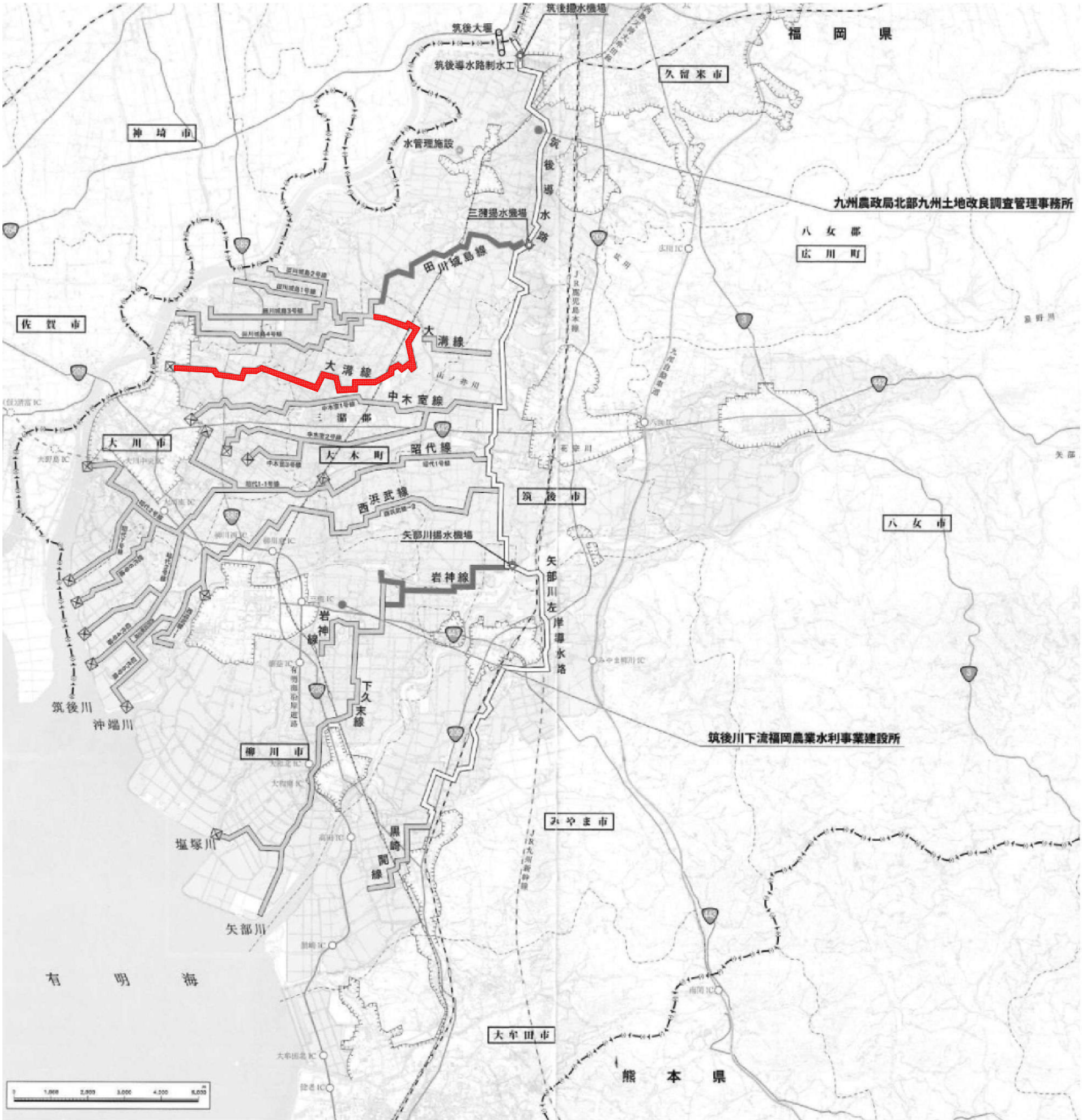
工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
3) 転倒ゲート吊金具整備		門	2.000	
3. 産業廃棄物処理工				
(1) 産業廃棄物処理工				
1) 産業廃棄物処分費(施設機械)		式	1.0	
建設廃材	ゴムくず	kg	55.000	
建設廃材運搬費	4t車(ゴムくず)	台	1.000	
4. 仮設工				
(1) 仮設工				
1) 仮設足場設置・撤去		式	1.000	
足場工	あり, 手摺先行型枠組, なし	掛㎡	95.000	
安全費				
1. 安全費				
(1) 安全費				
1) 塗膜分析試験	分析及び検体採取	式	1.000	
塗膜分析試験	ローラゲート部	箇所	1.000	
塗膜分析試験	転倒ゲート部	箇所	1.000	
2) 交通誘導警備員	交通誘導警備員B	式	1.000	
交通誘導警備員B		人	4.000	

令和6年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
排水路設備（大溝線他）改修工事

契 約 図 面

[illegible]

位置図(1/2)




凡例	
<div style="background-color: red; width: 20px; height: 10px;"></div>	施工対象範囲

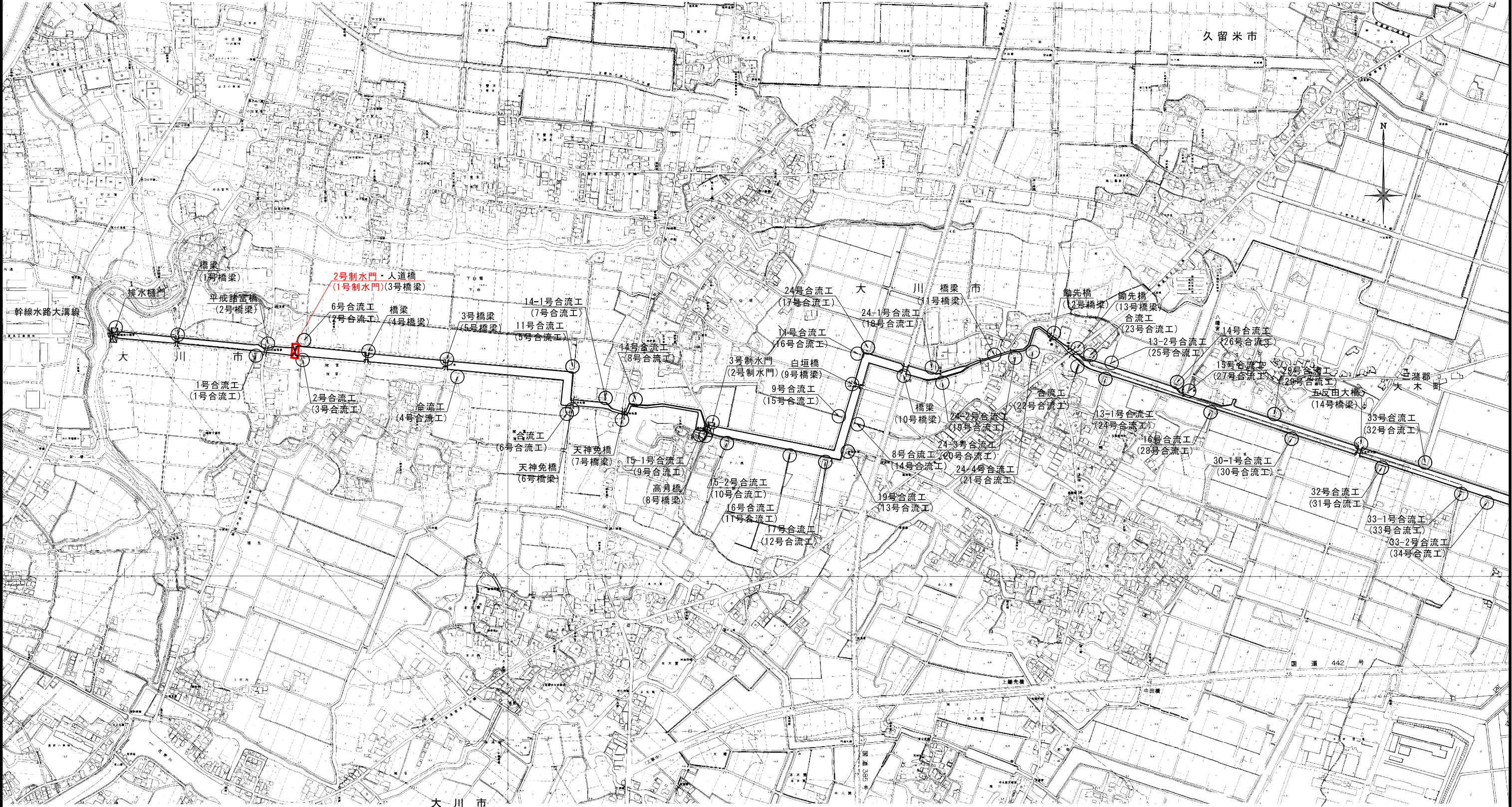
業務名	令和6年度 筑後川下流福岡県管施設機能保全事業 排水路設備(大溝線他)改修工事		
図面名	位置図(1/2)		
作成年月日			
縮尺	NON SCALE	図面番号	1-1/2
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

位置図(2/2)

S=1:5000

凡 例	
	施工対象箇所

<施設管理名称>
制水門：下段()書き

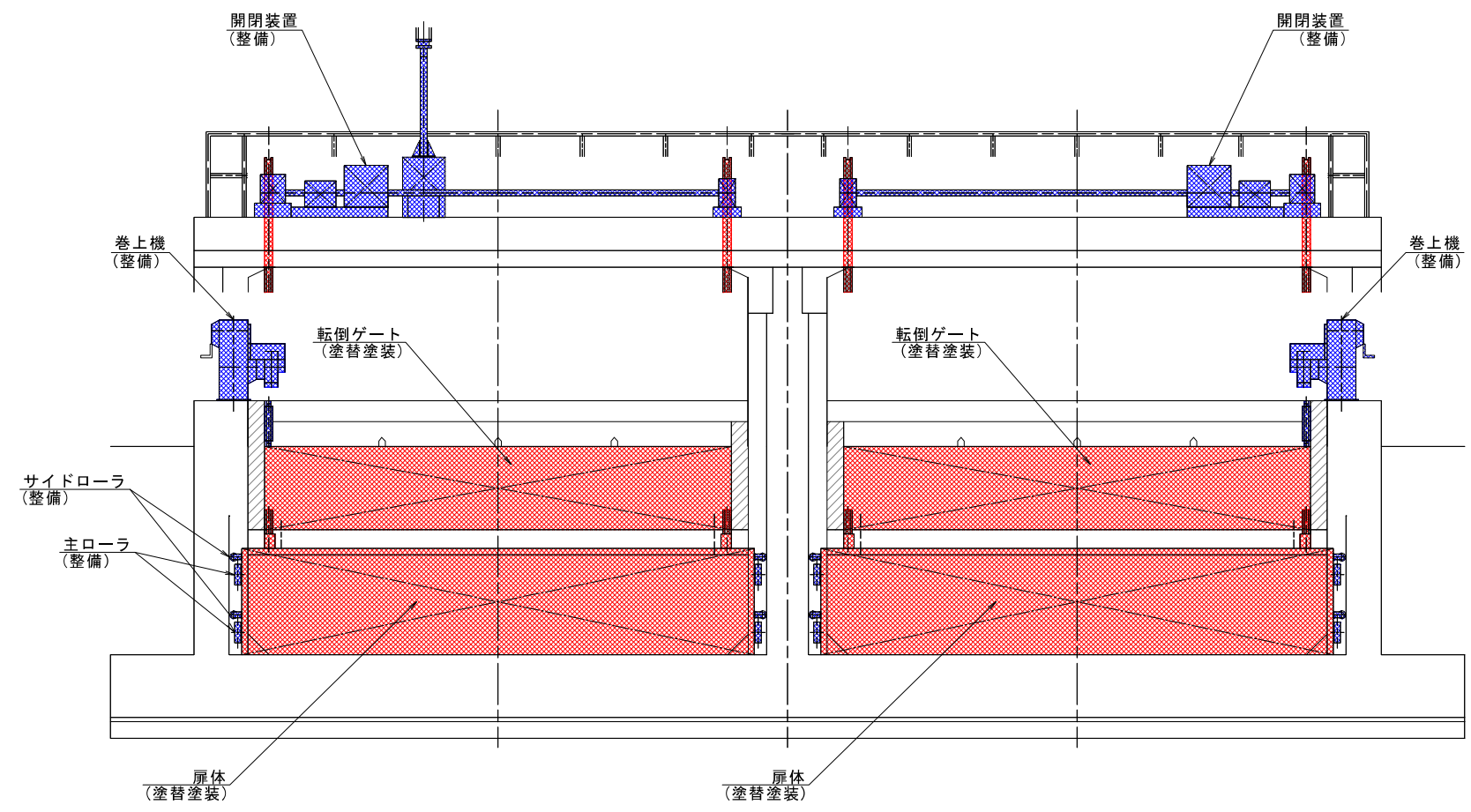


工事名	令和6年度 筑後川下流福岡回営施設機能保全事業 排水路設備(大溝線他)改修工事		
図面名	位置図(2/2)		
作成年月日			
縮尺	S=1:5000	図面番号	1-2/2
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

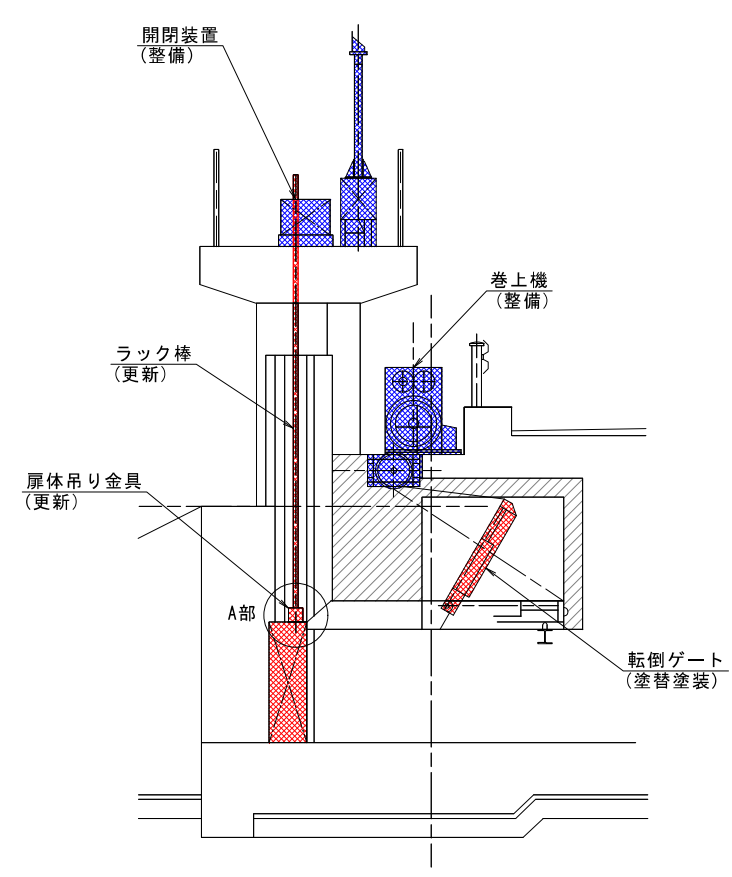
制水門整備一般図(タイプV(2門))
大溝線 2号制水門(施設管理名称:1号制水門)

凡 例	
<div></div>	更 新
<div></div>	整 備

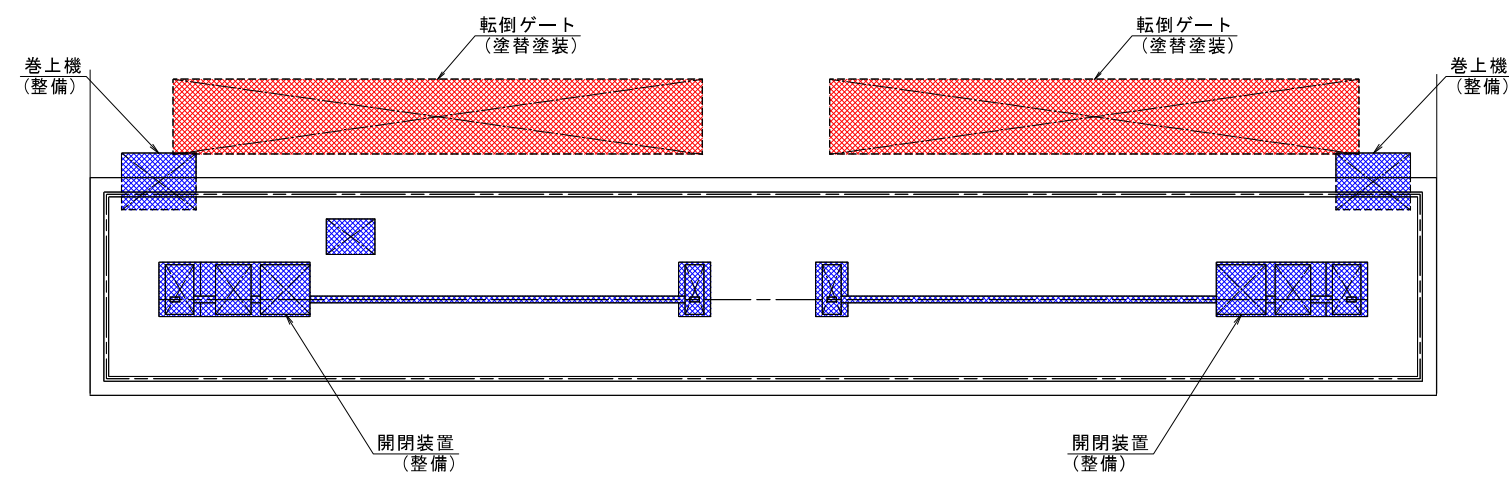
正面図 S=1:40



側面図 S=1:40



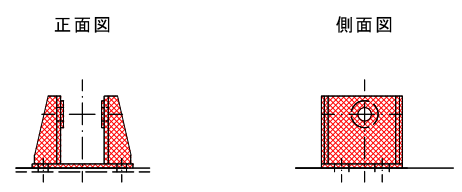
平面図 S=1:40



制水門改修内容(工場)	
扉体 (転倒ゲート)	<準備・復旧> ・扉体取外し・復旧
	<更新内容> ・転倒ゲート水密ゴム交換 ・扉体工場塗装塗替

制水門改修内容(現場作業)	
扉体	<準備・復旧> ・扉体取外し・復旧
	<更新内容> ・ローラゲート水密ゴム交換 ・扉体現場塗装塗替
開閉装置	<更新内容> ・ラック棒・扉体吊り金具交換
	<整備内容> ・各装置の点検・調整 ・オイル交換 ・点検口からの内部確認 ・補修塗装(浮きサビ除去を含む) ・清掃 ・エンジンオイル交換・清掃
巻上機 (転倒ゲート)	<整備内容> ・各装置の点検・調整 ・補修塗装(浮きサビ除去を含む) ・清掃、転倒ゲート吊金具整備

A部詳細図 S=1:10
(扉体吊り金具)



工 事 名	令和6年度 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(大溝線他)改修工事		
図 面 名	制水門整備一般図(タイプV(2門))		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	2
会 社 名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

令和6年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
排水路設備（大溝線他）改修工事

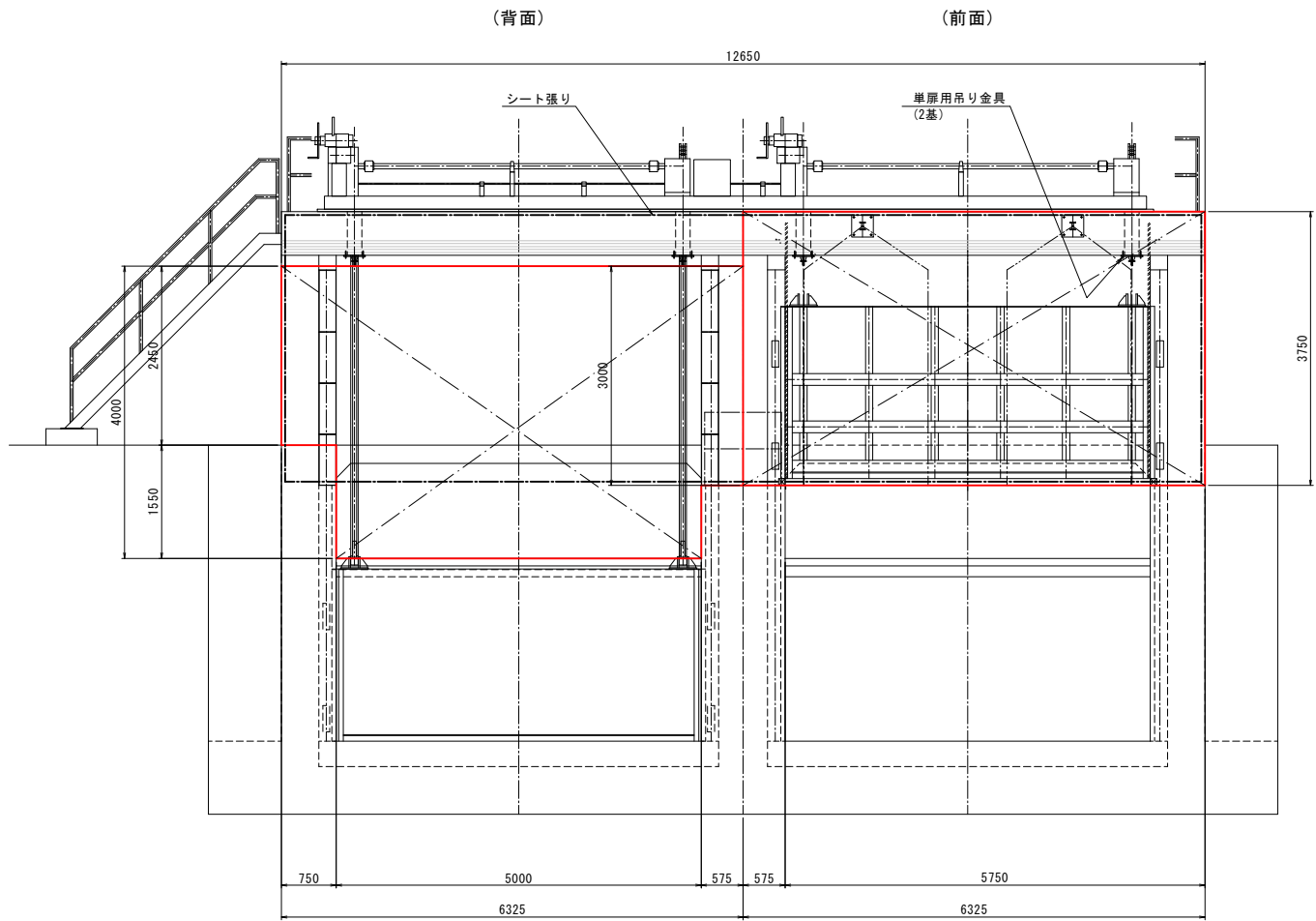
参考図面

北部九州土地改良調査管理事務所

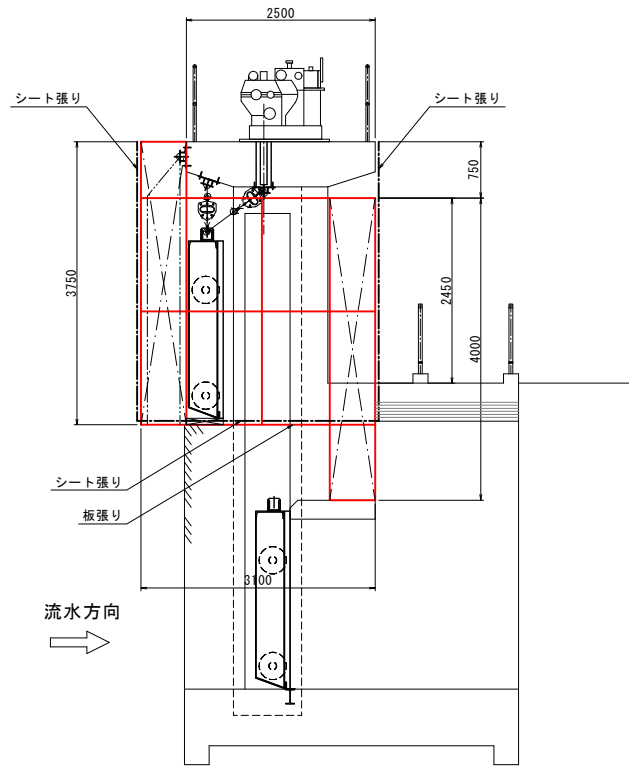
[illegible]

単扉取外し用足場(参考図)

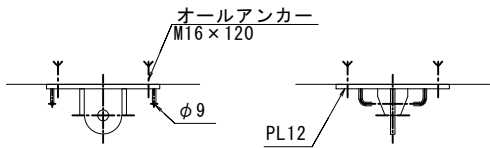
正面図 S=1:50



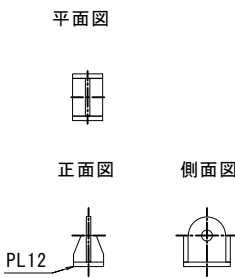
側面図 S=1:50



門柱吊金具
(数量: 6箇所/門) S=1:10



扉体吊金具
(数量: 2箇所/門) S=1:10



工事名	令和6年度 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水路設備(大溝線他)改修工事		
図面名	単扉取外し用足場(参考図)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	参-1/1
会社名			
事業所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		